

TAIPEI

台
北

2020



STORIES FROM THE CAPITAL

伝統の息づく現代台北

特集記事 台北：ボーダーレスミュージアム / **体験と活動** 台北の歩み：台北探索館 / **芸術と文化** 台北の近現代芸術スポット / **台北の横顔** 台北のドラッグクイーン：人々を魅了するカフェ / **飲食文化** 伝統市場：ありふれた日々の観測者

台北市政府観光傳播局 /
台北市觀光傳播局
Department of Information and
Tourism, Taipei City Government
☎ 1999 内線 7564
〒 台北市市府路 1 号 4 階

台湾桃園国際空港第一ターミナル 到着
ロビーのトラベルサービスセンター
Tourist Service Center at Arrival Lobby,
Taiwan Taoyuan International Airport
Terminal 1
☎ (03)398-2194
〒 桃園市大園区航站南路 9 号

台湾桃園国際空港第二ターミナル 到着
ロビーのトラベルサービスセンター
Tourist Service Center at Arrival Lobby,
Taiwan Taoyuan International Airport
Terminal 2
☎ (03)398-3341
〒 桃園市大園区航站南路 9 号

美國在臺協會 / アメリカ在台湾協会
American Institute in Taiwan
☎ (02)2162-2000
〒 台北市金湖路 100 号

遠企購物中心 /
遠企ショッピングセンター
Taipei Metro the Mall
☎ (02)2378-6666 内線 6580
〒 台北市敦化南路 2 段 203 号

國語日報語文中心 /
国語日報語学センター
Mandarin Daily News
(Language Center)
☎ (02)2341-8821
〒 台北市福州街 2 号

台北松山機場 / 台北松山空港
Taipei Songshan Airport
☎ (02)8770-3430
〒 台北市敦化北路 340-9 号

士林區公所 / 士林區役所
Shilin District Office
☎ (02)2882-6200 内線 8725
〒 台北市中正路 439 号 8 階

臺北士林劍潭活動中心 /
台北士林劍潭市民センター
Shilin Chientan Overseas
Youth Activity Center
☎ (02)2885-2151
〒 台北市中山北路 4 段 16 号

臺北美國學校 / 台北アメリカンスクール
Taipei American School
☎ (02)2873-9900
〒 台北市中山北路 6 段 800 号

國立國父紀念館 / 国立国父紀念館
National Dr. Sun Yat-sen
Memorial Hall
☎ (02)2758-8008
〒 台北市仁愛路 4 段 505 号

國立中正紀念堂 / 国立中正紀念堂
National Chiang Kai-shek
Memorial Hall
☎ (02)2343-1100
〒 台北市中山南路 21 号

台北當代藝術館 / 台北当代芸術館
Museum of Contemporary Art
(MOCA), Taipei
☎ (02)2552-3720
〒 台北市長安西路 39 号

市長官邸藝文沙龍 /
市長官邸アートサロン
Mayor's Residence Arts Salon
☎ (02)2396-9398
〒 台北市徐州路 46 号

臺北國際藝術村 / 台北国際芸術村
Taipei Artist Village
☎ (02)3393-7377
〒 台北市北平東路 7 号

台北二二八紀念館 / 台北二二八紀念館
Taipei 228 Memorial Museum
☎ (02)2389-7228
〒 台北市凱達格蘭大道 3 号

交通部觀光局旅遊服務中心 /
交通部觀光局トラベルサービスセンター
Travel Service Center, Tourism Bureau,
M.O.T.C
☎ (02)2717-3737
〒 台北市敦化北路 240 号

光點台北 / 光点台北
SPOT-Taipei Film House
☎ (02)2778-2991
〒 台北市中山北路 2 段 18 号

臺北市政府市民服務組 /
台北市役所市民サービスカウンター
The public service group of
Taipei City Government
☎ (02)2720-8889 / 1999 内線 1000
〒 台北市市府路 1 号

士林官邸 / 士林官邸
Chiang Kai-Shek
Shilin Residence
☎ (02)2883-6340
〒 台北市福林路 60 号

臺北市孔廟 / 台北市孔子廟
Taipei Confucius Temple
☎ (02)2592-3924
〒 台北市大龍街 275 号

臺北記憶倉庫 / 台北記憶倉庫
Taipei Info Hub
☎ (02)2341-4597
〒 台北市忠孝西路 1 段 265 号

松山文創園區 /
松山文化クリエイティブパーク
Songsan Cultural and
Creative Park
☎ (02)2765-1388
〒 台北市光復南路 133 号

華山 1914 文化創意產業園區 /
華山 1914 文化クリエイティブパーク
Huashan 1914 Creative Park
☎ (02)2358-1914
〒 台北市八德路 1 段 1 号

國立臺灣博物館 / 国立台湾博物館
National Taiwan Museum
☎ (02)2382-2566
〒 台北市襄陽路 2 号

亞典圖書公司 / 亜典書店
Art Land Book Co. Ltd.
☎ (02)2784-5166
〒 台北市仁愛路 3 段 122 号

臺北市立圖書館 / 台北市立図書館
Taipei Public Library (Main & branches)

臺北市旅遊服務中心 /
台北市観光案内所
Visitor Information Centers in Taipei

MRT 各駅
All Stations of MRT Lines

伊是咖啡 / IS コーヒー
Is Coffee

誠品書店 / 誠品書店
eslite Bookstore

金石堂書店 / 金石堂書店
Kingstone Bookstore

伝統と現代が 交錯する都市、台北

台北 は近代化された町並みの中にレトロな建物が混じっているなど、伝統と現代が同居している都市です。風習や文化も同様に新しいものを取り入れながらも昔の習慣が社会に根強く残っています。

今季の《TAIPEI》では、現代・伝統という視点から現在も台北に残り続けている文化や建物に焦点を当てました。

まず、特集では台北の中にある主要な5つの都市を大きな博物館としたイベント「ボーダーレスミュージアム」を紹介しているので、台北の史跡や昔ながらの文化に興味がある人は必見です。

体験というテーマでは台北探索館のイベントを中心に、台北の歴史を学ぶのに最適なスポットの紹介をしている他、懐かしいレコード店や歴史ある旧市街も取り上げています。

さらに台湾の中秋節の過ごし方、芸術の秋を楽しく過ごせる近代芸術や建築と歴史変遷の紹介も見逃せません。

また、今回の訪問インタビューでは、40年以上に渡り台湾のジャズ業界を牽引してきたお店、さらにLGBTQI+関連で注目を集めるドラッグクイーンショーが楽しめるゲイバーのオーナーたちにお話を伺っています。

台北と言えばグルメですが、今回は屋台料理の情報や伝統料理を現代風にアレンジしたお店、それらが楽しめる市場をまとめました。

文化や芸術、音楽、食事、建築と様々な角度から台北の魅力を紹介していますので、機会があればこうしたスポットを訪ね、台北の中にある現代と伝統のコントラストを体感してみてください。





TAIPEI 郵政劃撥（郵便振替）での定期購読について：6 期

振替口座番号：16630048

振替口座名義：台北市観光伝播局

台湾国内	NT\$180 元	（普通郵便で発送）
香港、マカオ	NT\$540 元	（航空便で発送）
アジア太平洋地域	NT\$660 元	（航空便で発送）
ヨーロッパ / アメリカ / アフリカ地域	NT\$900 元	（航空便で発送）

TAIPEI 台北

STORIES FROM THE CAPITAL

発行人 劉奕霆
編集長 謝佩君
副編集長 鄒佳穎
編集 林彥男
整合行銷 陳其睿 李宗岳 林沛妤
翻訳 下山敬之 吳婕如
カバー写真 Yenyi Lin
カバーデザイン Broo 品牌釀造室

台北市観光伝播局

住所 台北市市府路 1 号 4 階
Tel 1999
(台北市外からは 02-2720-8889)
内線 7564 または 2029
Fax (02)2720-5909
Email taipei_quarterly@mail.taipei.gov.tw
ISSN 24137774
GPN 2010402343

本誌に対するご意見、ご希望などがございましたら、是非、E-mail またはファックスにてお寄せください。

デザイン MyTaiwanTour 飛亞旅行社股份有限公司

Tel (02)2365-3881
Fax (02)2365-6558



オンライン雑誌：
www.travel.taipei/ja
> マルチメディア > TAIPEI

台北市観光伝播局

書面による許可なく本誌の全部または一部を複製・複写することはできません。



本誌は大豆インクを採用しています。

中華郵政台北雑字
第 1377 號執照登記為雜誌交寄
本号定価 NT\$30 元

CONTENT

目次

VOL.21
2020 秋季号

特集記事

04 台北：ボーダーレス ミュージアム

体験と活動

- 16 台北の歩き：台北探索館
- 20 デジタル時代のアナログサウンド
ロマン溢れるレコード専門店
- 24 昔の台北を今に留める
歴史ある旧市街 3 選

芸術と文化

- 28 台北の近現代芸術スポット
- 32 家族と過ごす：台湾の中秋節
- 36 台北の建築から見る歴史の変遷

台北の横顔

- 42 Blue Note Taipei: 台北ジャズの聖地
- 48 台北のドラッグクイーン
人々を魅了するカフェ

飲食文化

- 54 台北屋台料理 2.0
現代風の伝統料理を提供するお店 5 選
- 58 伝統市場
ありふれた日々の観測者





01

台北 | ボーダーレス ミュージアム

5つの「生きた博物館」 — 新旧、現代と伝統、様々な要素が調和し共存する場所

文 / Rick Charette 編集 / 下山敬之

写真 / Taiwan Scene, Toppo Baker, 北投温泉博物館, Richie Chan, 艋舺青山宮, 台北当代美術館

台北は初めて来た方でもわかるほど、古いものと新しいもの、現代と伝統といった要素が混じり合った場所です。台湾の中でも特に台北の人たちは、外の世界に対する受容性が高いことで知られていますが、同時に自分たちの歴史に強い誇りも持っており、ここ数十年にわたり、先祖代々受け継がれてきた文化遺産の保存と普及に取り組んできました。台北の街中を歩くと、高く近代的なビル群の中に、丁寧にリノベーションされた建築遺産が並んでいる光景を目にします。

これまで何度も建築遺産保存のための取り組みを実施してきた台北市ですが、今回は「台北ボーダーレスミュージアム」（台北無围墙博物館）というキャンペーンを企画しました。これは、街全体をひとつの「生きた博物館」としてとらえるという試みで、人文科学や現地の人々の生活、物的資源、そして歴史を組み合わせることで、巨大な観光地を作り上げました。

台北の中でも歴史的に重要な5つの地域を会場として

選出しており、それぞれが「垣根のない生きた博物館」として独特の外観、スタイル、ストーリーを有しています。これらの地域が一体となることで新しい文化探求のための地図が完成しましたので、自身の興味に合わせて地域単体を探索してみたり、全地域を巡るなど自由にお楽しみください。具体的な場所は、北から順に北投温泉、大稻埕、万華艋舺、城北廊帯、城南台大となっていて、台北における文化的な多様性、新と旧、伝統と現代的な要素の調和、共存している姿を広く知らせることが目的となっています。

ここでは、各地域の特徴を簡単に紹介していきます。

01. 台北はレトロな町並みと近代都市の要素が融合した「生きた博物館」です。
02. 天然温泉で知られる北投は、地熱谷などの名所が多くあります。(写真 /Topsy Baker)

北投温泉 建築、歴史、温泉

北投（ Beitou ）は温泉リゾート地で、台湾で初めて開発されたレジャー地域です。1890年代後半から日本人による開発が進められ、かつては台北の中心部から特別な鉄道路線が引かれていました。現在では、古い建物とスタイリッシュな新しい建物が混在する場所となっています。

この地域の中心は、陽明山（ヤンミンシャン）の麓にある長く狭い谷で、付近には北投公園が広がっています。かつての谷の入口近くに設置されていた鉄道路線は、独特な外観のミッド・新北投駅へと変わり、今に至るまで北投の貴重な温泉文化を普及する一翼を担っています。新北投駅の屋根はインペリアルイエローを基調とした中国宮殿風の造りで、正面には温泉公園に向かって古風なアーケードが続いています。

駅の横にある七星公園（チーシンゴンユエン）には、か





03



04

つての日本風の木造駅舎が再建されています。1916年に建てられたこの駅は、復元にあたり元の建物で使われていた資材の70%を利用し、1937年の拡張工事に使用された設計図を参考に造られました。寸法と外観は元のものと同じで、最大の特徴である木造の外装、銅製の屋根瓦、飾り彫りが施された

軒、丸型の屋根窓は当時のまま復元されています。この建物には現在、北投の歴史を紹介するギャラリーや、北投をテーマとした商品を販売するおみやげ屋さんがあります。北投公園内はひとときわ目を引く台北市立図書館北投分館があり、外観は小さな森の中に置かれた巨大な箱船のようです。受賞歴もあるこの建

03. - 04. 日本式木造建築で有名だった北投駅は、新たに改築され人気観光スポットとなっている他、展示スペースとしても活用されています。

05. 巨大な木の家のような外観を持つ台北市立図書館北投分館は緑の豊かな公園の中にあります。



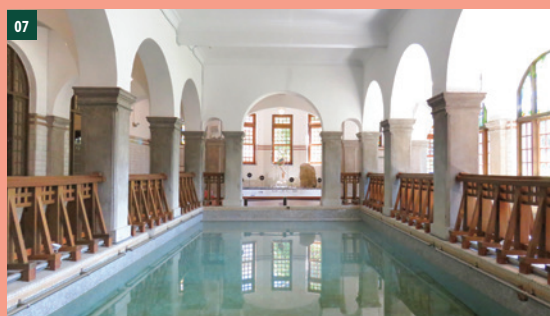
05



06

物はエコな図書館としても有名で、電力は屋上のソーラーパネルを使用し、屋上の緑化によって屋内は涼しく保たれ、屋根の排水システムから雨水を貯留して植物への給水やトイレの水洗などに活用されています。周囲の木陰のおかげで、直射日光が入ることはなく、バルコニーで読書をを楽しむこともできます。心穏やかにリラックスして森林浴が楽しめる空間を提供するという内容が全体的なコンセプトです。

図書館の近くには赤レン



07



08

ガ、塗装した板、白い化粧しついで彩られた北投温泉博物館があります。元々は1913年に日本人によって開かれた台湾最初の公共浴場で、東アジア最大の公共温泉浴場です。デザインは日本の伊豆山温泉を参考としていて、屋内には口マネスク様式のプールと柱、畳敷きの大きな休憩室がある他、数多くの工芸品や北投の歴史に関する展示もあります。

天狗庵は台湾最初の温泉旅館で、大阪の事業者により1896年に開けられました。

ここは、北投が温泉リゾート地として栄えた原点で、日本統治時代には湯治目的で病院も建てられていました。第二次世界大戦中には数多くの兵士がこの病院に送られていたことから、戦後すぐに軍人家族のコミュニティが形成されました。このコミュニティは天狗庵から10分ほどの一帯に定着し、現在の「中心新村」となっています。この村は1949年から現在まで良好な状態で保存されているので、当時の軍人家族の生活などが垣間見れます。

- 06. 100年以上の歴史を持つ北投温泉博物館は日本人によって建設されましたが、赤レンガを使用したビクトリア式の建築様式が採用されています。（写真 / 北投温泉博物館）
- 07. 北投温泉博物館の中に残る大浴場はかつてアジア最大の公共浴場と呼ばれていました。（写真 / 北投温泉博物館）
- 08. 軍用に建てられた病院の近くにある中心新村は、1949年から完璧な状態で保管されている数少ない眷村の一つです。

大稻埕 地方産業と貿易

大稻埕（ダーダオチェン）は、有形遺産が最も多く存在する地域です。大同区の淡水河に沿って広がるこの地域は、中心地の迪化街付近に歴史的建造物が数多く並んでいます。

19世紀後半から20世紀半ばにかけて、大稻埕は台北盆地の商業の中心地でした。1853年、台北の最も古い集落である艋舺で起きた紛争を避けるために、漢人が大稻埕に移住しました。淡水港が開港した後は、西洋の貿易会社の進出が進み、大稻埕は乾物（地域特産品「南北貨」）、茶、漢方薬、織物など各産業の貿易拠点となりました。数多くの中国人商人によって西洋風の建築が模倣され、さらに1895年に日本が台湾を統治すると、ネオバロック様式などの西洋様式が使われるようになり、大稻埕は西洋文化の玄関口として有名になりました。

現在の迪化街（ディーホァジエ）には、玄関がネオバロ

ック様式で造られた建物が多く見られますが、この様式は大正時代に人気でした。注意して見ると、入口の上には元の店名が彫られていることがわかります。また、建物が密集して並んでいたことから、移動手段がほぼ徒歩だけの当時でも、複数のお店を回ることができました。この土地に根を張った人たちは、通り沿いで商売を営み、裏側を住居として生活していました。迪化街は台北で最も古い商店街であり、また地域の中心でもあることから老舗の店や文化創造を行う新しいお店が数多くあります。大稻埕では古い建物の大半がリノベーションによってバーやカフェ、おしゃれなレストランなどに变化しているの、観光客には非常に魅力的な街です。

大稻埕の発展は、お茶産業によって成されたと言っても過言ではなく、かつては茶の加工工場と裕福な商人の西洋風邸宅が立ち並んでいました。生の茶葉が台北盆地の丘から運ばれ、この地を経由して加工品が世界中に出荷されました。



現在はこのような工場はなく、かつてのお茶屋の多くが、台湾の茶文化を紹介する「生きた博物館」となっています。そのひとつに「新芳春茶行（シンファンチュンチャーハン）」があり、開業は1934年、玄関がネオバロック様式で造られた3階建ての建物です。現在では、店舗、博物館、文化教育センターと様々な用途で利用されているので、台湾のお茶貿易について学ぶ、お茶を買う、茶葉の加工室や特別展の見学など様々な体験をしてみましよう。

他にも漢方薬の問屋や小売店も200軒ほどありますが、その多くは台北市の店舗再生プロジェクトに参加して、店舗の正面や内装に装飾を施しています。ここ数十年、台湾の人々は伝統的な漢方薬よりダイエットによる健康維持を行っています。大稻埕の老舗店は漢方薬が入ったティーバッグを小分けにして販売するなど魅力的な商品を販売して、漢方を再び普及させる試みを行っています。



09. 迪化街を歩くと、大稻埕が台北の様々な産業を生み出した地域であることがわかります。
10. 新芳春茶行は大稻埕にある老舗の茶館で、内部には一般向けのお茶に関する展示が行われています。
11. 大稻埕にはオープンデザインの漢方のお店が多々有り、一般的なお店と違って自由に店内を見て回ったり、商品が選べるようになっています。
12. 現在の大稻埕では歴史ある建物を利用し、手作りの商品などを販売するお店が多くあり、全く新しいレトロな雰囲気を作り出しています。
13. 南北貨は大稻埕の四大産業の一つで、現在もお店が多く点在する迪化街には様々な種類の南北雑貨が販売されています。

艋舺 地元に住む人々の 生活

台北で最も古い集落である艋舺（万華（モンジャー）ワンホア）は、1700年代前半に形成されました。艋舺は新店溪（シンディエンシー）、大漢溪（ダーハンシー）という2つの川が合流し、淡

水河へと変わる境目に位置することから、かつては台北盆地の貿易拠点として栄えまし

た。

物資が河を経由して沿岸部の淡水港へと運ばれ、そこで大型の船に積み替えられてさらに遠方へと送られていました。その後、艋舺の港が浅くなってしまったことなどを理由に商業の中心地は大稻埕

へと移り、艋舺は長く停滞の時期に入ります。そこから抜け出したのは、地元の人々が昔からの伝統文化に誇りを持つたことがきっかけで、以降

は台北の宗教文化や食の伝統に触れられる場所として有名になりました。

艋舺龍山寺はこの地域の象徴であり、歴史においてもこの上なく重要な場所です。

また、台北で最も来訪者数の多い寺院でもあり、中国式寺院建築としても世界最高水準です。この寺院の東側には、

「青草巷（西昌街224

巷）」があり、短く狭い路地の中に強壮剤や軟膏、薬用食品に使用される伝統的な薬草の販売店が立ち並んでいます。薬草は古くから病気の予防や治療に用いられるなど、

伝統的な日常生活には欠かせない存在であり、薬草のお店は医療上のアドバイスをしてくれる場所として信頼を集めてきました。

この寺院から徒歩5分の場所に、剥皮寮（ホーピーリヤオ）という歴史的なエリアがあります。ここは清朝（1636年〜1912年）の町並みが残っていて、伝統



14



15



16

14. 龍山寺は艋舺地区の宗教信仰の中心で、地元の人たちにとっての安らぎの場でもあります。（写真/Richie Chan）
15. - 16. 隠れるようにひっそりと佇む小さな路地の青草巷には、青草茶や伝統的な漢方を販売するお店が集まっています。
17. 歴史のある地区の剥皮寮には、清朝時代の町並みが今も残り続けています。
18. 艋舺青山王祭典は、萬華に住む人たちにとって最も重要な宗教イベントです。（写真/艋舺青山宮）
19. 現地の人たちについていくとローカルな排骨スープ、ルーロウファンなどが楽しめます。



17



18

的なレンガ造りの家屋が2列に並んでいます。これらの建物は2階建てで、1階にはアーケードがあるなど、清朝時代と日本統治時代には非常に重要な商業地域でした。現在では地域の教育を目的とした展示場として利用されています。

龍山寺の西側にある西園路一段は「仏具街」として知られ、寺院、神社、家庭で使

う札拝用の像や道具を販売するお店が立ち並び、珍しい土産物を求めて海外からの観光客が多く訪れる場所でもあります。家庭や家族、地域の守護を祈ることは、現地に住む人たちの日常生活には欠かせない要素であり、信仰によって安心を得ています。

1856年に建てられた艋舺青山宮は、美しい彫刻の施された梁や壁画が有名な寺



19

院で、ここでは艋舺最大の行事である「青山王祭典」が開催されます。3日間続くこの祭典には神々を乗せた神輿とそれに続いて人々が街を練り歩くなど地域総出で参加します。

この他にも、伝統的な食文化が艋舺最大の夜市である「華西街觀光夜市」に数多く残されています。中国では信者が絶え間なく訪れる寺院の周囲に市場ができると言われていますが、この夜市は多くの参拝客で賑わう龍山寺のすぐ西にあります。行列ができるお店も多く、排骨スープや紅焼肉という豚肉を揚げた料理、イカの入ったとろみスープの花枝羹などが人気です。

城北廊帯 文化と芸術

城北廊帯は日本統治時代に形成され、日本人の役人の住居が数多く建てられました。現在では、M201 双連駅からM204 中山駅にかけての中山線形（シンジョンシャンシエンシン）公園が南北に伸びています。この細長いエリアは、かつて鉄道の線路が敷

かれていた場所で、現在は文化芸術に関する特別展やフリーのデザイナーたちによる作品フェアが開催されており、週末にはフードトラックも並びます。公園の地下には長い書店街「Cinéma 79（誠品R79）」があり、デザイン関連の書籍が城北廊帯に芸術的な彩りを添えています。かつての城北廊帯は伝統を伝える場所として、日本統

治時代の建造物を拠点とする台北当代芸術館（MOC）と蔡瑞月（ツァイルイユエ）舞踏研究社が大きな役割を果たしていました。現在ではこの一帯にクリエイティブなお店や書店が増えています。台北当代芸術館は2階建ての赤レンガ造りの建物で、元々は1919年に日本人児童のために建てられた小学校でした。この建築はヴィク

トリア様式とエドワード様式を組み合わせたもので、屋根の中央には鐘楼があり、見た目も非常に美しい名所となっています。後に改築され、台湾初の現代美術専門美術館として2001年に開館しました。この美術館では美術、デザイン、建築のさまざまなテーマを扱っていますが、常設展示はありません。日

本統治時代の役人寮であった建物を利用していました。この建物は木造の2棟建てで、よく手入れされた芝生と緑地の中央にあり、後に「台湾の現代舞踊の母」と呼ばれる蔡瑞月が自宅、教室、スタジオとして利用しました。現在は、一部がおしゃれなオープンテラス付きのカフェへと姿を変えています。付近には、かつて在中華



20



21

20. 鉄道はすでに撤去されましたが、心中山線形公園はかつてレールのあった細長い外観が残り、緑あふれる新たな憩いの場が設置されました。
21. 台北当代芸術館の赤レンガは1919年から今に至るまで残り続けていて、レトロな雰囲気と館内にある現代的な展示が強烈な対比を生んでいます。（写真／台北当代芸術館）
22. 光点台北はかつてアメリカの大使が駐在していた住宅で、現在は映画ファンたちが集まるスポットとなっています。



22

23. かつて日本統治時代には役人寮だったこの建物は、現代舞踊で知られる蔡瑞月舞踏研究社へと姿を変えました。
24. 赤峰街は、数多くのおしゃれカフェが外観を塗装することで芸術的な雰囲気を作り出しています。



23

民国アメリカ大使官邸として使われ、リチャード・ニクソンが副大統領時代に滞在していたことで有名な「台北之家」があります。戦前の美しいアメリカ様式で彩られたこの白い外装の邸宅は映画館として利用されていて、クリエイティブな交流ができる場所でもあります。かつての車庫を88席のアートシアターとしている他、併設されている「Café Lumière」(珈琲時光)やバー「Le Ballon Rouge」

(紅気球)では、有名な映画にちなんで名付けられた飲み物が楽しめます。また、ブティックショップの「SBOI Design」(光点生活)では、ハンドメイドのオリジナルグッズや、世界中から取り寄せた最高のデザイングッズなどが販売されています。

活気あふれる場所が好きな人には、かつて「打鉄街」と呼ばれた赤峰街(ツーフォンジエ)がおすすめです。色鮮やかなグラフィティアートやインスタレーションアートが路地に彩りを添えている場所、若い起業家のグループが、古い商業施設に拠点を構え、スタイリッシュな書店、カフェ、ベーカリー、ワークショップなどのクリエイティブな取り組みを進めています。また、おしゃれで新しい精神以外にも、伝統的な建築美も積極的に活用されています。



24



城南台大 知識と教育

「城南台大」とは、国立台湾大学のキャンパスと、その南、南西、西の一带を指します。その中心は台湾の各民族が散らばってコミュニティが形成された羅斯福路、汀州路、温州街例です。台湾は時代と共に異なる民族の集落やコミュニティを融合してきましたが、この地域はその例の1つです。

また、この地域は日本統治時代の都市の近代化の実例とも言える場所であり、高等教育施設を中心として構成された、モデル教育や学生教育の拠点でもあります。こうした背景から城南台大は高度な文化遺産となっています。

国立台湾大学と国立台湾師範大学は、台湾でも最高水準の高等教育機関のひとつです。両校は日本人によって設立され、その後は後に台湾のリーダーとなる人材を多数輩出してきました。また、台湾の民主化運動における抗議活動など中心には、常に両校の卒業生たちがいました。

城南台大は高等教育のための小規模なエリアですが、知識と教育に力を入れていることもあり、書店や学生向けカフェ、図書閲覧室の数が極めて多いです。「公館商圈」は、さまざまなインディペンデント書店が立ち並ぶ魅力的な一画で、代表例にインディペンデント書店、インディー系のレコードショップ、カフェを運営する「Kafka by the Sea」(海辺のカフカ)があります。また、他にも芸術系の



25. 長年に渡り城南エリアに存在し、様々な知識を人々に提供してきました。
26. - 27. 日本式建築で建てられた紀州庵文学森林は、多くの文学愛好者たちが執筆をしたり、のんびりとコーヒーを楽しむ場所となっています。
28. 伝統的な客家農村の水車は、客家文化センターの屋外公園で見ることができます。
29. 城南の眷村を改築して作られた宝蔵巖芸術村は、世界各地のアーティストたちの作品が展示されている場所です。

イベントやアンプラグドのライブ、展覧会が定期的に開催されている場所です。また、公館商圏からほど近い牯嶺街は古本屋街で、文学愛好家が読書や執筆、コーヒーを楽しむために訪れる静かなスポット「紀州庵（ジージュウアン）」文学森林」があります。このお店は、日本統治時代に料亭として使われていた和風木造建築が並ぶエリアの中央にあります。



28

城南地域へ入植してきた人々の中には、客家（ハッカ）の団もいました。客家は漢民族から分かれた民族で、台湾では2番目に多い民族です。客家は質素儉約、強固で深い家族の結束、誠実さを基本としたビジネス感覚が特徴で、独自の言語や習慣を持ち、宗教、音楽、食べ物、建築様式などにおいて独自の文化を築き上げてきました。城南台大には広大な「台北市客

家文化主題公園」があり、客家の村にあった伝統的な水車が展示されています。

この他に、台湾にはかつておよそ900の「眷村」がありました。シンプルなセメント造りの建物が集まった集落で、その多くは都市の中央にあり、1940年代に国民党が中国本土から台湾に移転した際に軍人の家族が移り住みました。「宝蔵巖」は新店溪を見下ろす丘の上に広がる、簡素な造りの建物が並ぶ村でしたが、今では自由な空気に満ちた「宝蔵巖国際芸術村」へと姿を変え、数多くのパブリックアート、アートスタジオ、展示スペースが並んでいます。地域の中心部にはまだ住民が暮らしていますが、芸術村はこの地域社会の活性化を促す役割も果たしています。

今回紹介した5つの地域はどれも個性的で、文化や歴史などを探求するのに非常に適した場所となっていますので、ぜひこのビッグイベントをお楽しみください。

29





01

台北の歩み：台北探索館

文 / Jamie R. Wood 編集 / 下山敬之 写真 / Samil Kuo, 台北市観光伝播局

行政都市としての設立 100 周年を迎えた台北市は、常にその景観を変化させることで人々を驚かせています。信義区にあるショッピング街のネオンは、若い世代の生活を明るく照らしていますが、大稻埕埠頭の歴史的建築物のヴィンテージな窓から差し込む自然光も、1920 年代以来変わらない魅力を放っています。

台北の歴史に興味がある方には台北市政府内にある台北探索館がおすすめです。ぜひ、この機会に台北の歩みを知る旅にでかけましょう。

台北探索館の展示ホール

台北探索館は、展示ホールがある 4 階建ての博物館です。各展示ホールは、さまざまなテーマごとに分かれています。



02

階段 ①②③④

台北印象ホール

館内 1 階にあるこのホールは、幅 9 メートルの壁面スクリーンに台北の四季折々の昼と夜を紹介する動画が映し出され、来館者の注目を集めています。

特別展示ホール

2 階の特別展示ホールでは、四季折々の見どころを紹介する展示や、アート、歴史、文化、グルメなどのテーマ別の展示が頻繁に行われています。現在は、12 月 31 日まで「Fumeancats Meets Taipei in 1920」が開催されています。黄阿瑪 (Fumeancats) は台湾で大人気の猫ですが、可愛い猫と一緒に 1 世紀前の台北の人々の暮らしぶりを見ていきましょう。

01. 「都市物語」エリアでは清朝時代に造られた 5 つの門のレプリカが再現されています。
02. 台北探索館の入り口は台北市政府の 1 階にあり、ホールにある巨大スクリーンの映像が来館者たちを出迎えてくれます。(写真 / 台北市観光伝播局)
03. 「Fumeancats Meets Taipei in 1920」の展示エリアでは当時の町並みが再現されています。
04. 一昔前の洋服店を振り返る特別展示を話題沸騰のネコ・Fumeancats (左) と台北市のマスコット熊讚 Bravo (右) がご案内します。(写真 / 台北市観光伝播局)



特別展示

Fumeancats Meets Taipei in 1920

2020 年は、台北市設立 100 周年ということで、台北探索館にて台北市政府による特別展示が開催されています。インフルエンサーの黄阿瑪をイベントアンバサダーに迎えたこの展示は、見る者を激動の 1920 年代へと誘います。この時代の台北には、まだ多くの水田や農家が存在し、人々がスーツやコーヒー、車といった西洋文化の一側面によりややく触れるようになった時代です。文明が開化し、普及するにつれて、博物館や学校が次々と建造されていきました。

黄阿瑪が学生や医師、ビジネスマンへと姿を変え、成長と文化の普及を迎えた当時の台北の人たちの日常生活を紹介します。学校に通う子供から、医療室で診察を受ける学生りまで、モノクロ写真と長期にわたって保管されてきた文書に、かつての日々が鮮明に記録されています。1920 年代と現在の台北の対照的な風景を映し出すタッチスクリーンも用意されているので、100 年にわたる台北の移り変わりがつぶさに見て取れます。



台北探索館

- 📍 信義区市府路 1 号
- 🕒 9:00 ~ 17:00 (月曜定休)
- 🌐 discovery.gov.taipei/en/
- 🎫 観覧無料

- 05. 「台北の街並み」エリアにある熱気球では、目の前のモニターを通じて台北の景観を楽しむことができます。
- 06. 館内には地上に台北 MRT の地図やグルメマップが表示されるなどの体験型の展示が多数用意されています。
- 07. ミニチュアの廟の前にはおみくじがありますので、棒を引いて運試しをしてみてください。
- 08. 「Yeah! Taipei」ではディスカバリーシアターで上映されている新作ショートフィルムが、360 度のモニターで楽しめるようになっています。

階段

①②③④

市内探索ホール

3 階の市内探索ホールは、5 つのエリアに分かれていて、各エリアには、さまざまな角度から切り取られた台北の現在の街の様子が展示されています。中でも注目すべきなのは、食文化、ショッピング街、MRT システムの紹介とフロアに投影されたボードゲームを組み合わせた「躍動感あふれる街 - ゆったりとした旅」というエリアです。台北について楽しく学んだり、台北に現存する最古の地区の日常的な暮らしが垣間見えます。また、「台北の街並み」エリアは一歩足を踏み入ると、ひと際目立つ気球に目を奪われます。気球内に立つと、市内の景色が巨大スクリーンに映し出されます。「新ウエストサイドストーリー」エリアは、台北市の西部を簡単に紹介しています。他にも 1960 年代の台北の街並みや、公園、台北盆地を囲む山並みなど、台北の緑あふれる風景が見られる展示もあります。



階段 ①②③④

時空ホール

4階には時空というテーマのホールがあり、タイムトラベル体験をしながら台北100年の移り変わりを見ていくことができます。まず、「台北旧市街」で、中国大陆から漢人が入植する以前、台湾の先住民族が暮らしていた300年前の時代までさかのぼります。清朝統治時代に建設された5つの門が、「都市物語」の中で模型として再現されています。「淡水河」では、この河がサトウキビ畑の水源であり、台湾茶産業と樟脳産業の繁栄を支えてきたことがわかります。「街の側面」には、オランダ人、中国の漢人、日本人たちの遺物が融合して生まれた台北の多様性が凝縮されています。



ディスカバリーシアター

ディスカバリーシアターは、360度の全方位スクリーンを備えた660平方メートルの巨大シアターです。また、動画に合わせて座席が回転することで、新たなビジュアル体験を提供します。映像はすべて台北の過去と現在のストーリーを題材とした内容です。入場料は無料です。

上映時間

🕒 9:30、10:00、10:30、11:00、14:00
14:30、15:00、15:30(火曜 - 日曜)

特別展示

Yeah! Taipei

台北の今昔を学ぶこと以外に、昼夜探索をしてみるのも、首都の側面を知る上では重要です。龍山寺を訪れてスピリチュアルな側面をのぞいたり、永康街で小籠包を食べるなど、昼間の台北はワクワク感満載です。夜の台北については、ぜひディスカバリーシアターで上演中の新作ショートフィルム『Yeah! Taipei』をご覧ください。

実際に台北の夜を体験するなら、2階建ての観光バスに乗ってナイトツアーに出発しましょう。快適なバスに乗りながら、街の魅力や喧騒が味わえます。特におすすめなのは、地元で人気のレジャーであるエビ釣りを体験とナイトマーケット巡りです。友人やご家族と釣りを楽しんだら、定番メニューの台湾ソーセージからタピオカミルクティーまで、安くて美味しい屋台グルメを堪能しましょう。ディスカバリーシアターで上演中の『Yeah! Taipei』では、文化、宗教、アートにまつわる季節ごとのナイトイベントと共に、台北の夜をあらゆる視点から紹介しています。📍

デジタル時代のアナログサウンド： ロマン溢れるレコード専門店

文 / Nathan Ray 編集 / 下山敬之 写真 / Samil Kuo



01

テクノロジーは私たちの生活に大きな進歩をもたらしましたが、音楽業界も同様にデジタル化によってカセットテープからCD、MP3 やストリーミング配信へと楽しみ方が変化していきました。ほんの数十年前まで、音楽のコレクションは収納棚の空きスペースを考慮しなければいけませんでした。現在ではスペースに関係なく一生かけても聴ききれないほどの楽曲にアクセスできます。

台北もこうした音楽革命の影響からは逃れられず、デジタル化の一途をたどっていますが、中には音質への不満やストリーミングというシステムによってアーティストに楽曲の使用料が支払われないといった問題から、従来の楽しみ方を好む人もいます。そういった人たちはお目当ての曲を求

めてレコード店を巡りますし、レコードこそが真の音楽愛好者の楽しめる唯一にして最高の媒体であり、レコードから流れる温かみのあるサウンドこそがリアルな音だと信じています。

ストリーミング時代となった今でも変わらずに、こうしたアナログサウンドを守り続けようとレコードにこだわり続けるお店がいくつか存在します。今季の TAIPEI では、市高品質なサウンドにこだわる 5 軒のローカルなお店を紹介していきます。

-
01. テクノロジーの進歩によって音楽産業は現在のように発展しましたが、台北にはレコードを保存しているお店が数多くあります。

1 ジャーチャーチャンピエン 佳佳唱片

1976年に開店したこのお店は、活気あふれる商業地区の西門町にあります。

専門性と多様性に富んだお店で、あらゆるスタイルの音楽を幅広く取り揃えています。40年以上も前から西洋、日本、韓国など海外の音楽を輸入していた数少ないレコード店で、来店するお客さんも年齢層が比較的高い人たちが多いです。クラシック音楽から、台湾の懐かしいキャンパスフォーク、1970年代のロックから最新のジャスティン・ビーバーまで、各時代を席卷した音楽を扱っています。また、スタッフも親切なので、欲しい楽曲が見つからなければ一緒に探してくれます。

📍 万華区中華路一段 110 号 2 階（中華店）

🕒 10:30 ~ 22:30



02.-03. 佳佳は台湾の音楽だけでなく、早期から西洋の音楽を取り入れたお店で、レコードが好きな人なら一度は足を運ぶべき場所です。



2 ガーティーフーチャンピエンハン 个体户唱片行

このお店は MRT 公館駅と台電大樓駅の間にあり、メタルやハードロックを中心とした中古レコードを幅広く取り揃えています。

豊富な品揃えからレコードが好きな方には天国のような場所ですが、商品が探しやすいとはいえないので、初めて来店した方は戸惑うかもしれません。ただ、世界中の DJ が愛してやまない長年埋もれてきた名盤を「発掘するプロセス」が楽しめる場所です。どうしても欲しいレコードが見つからない場合はオーナーに訪ねてみてください。両ひざをつきながら目当ての音楽を探したいという真の音楽愛好者向けの場所です。

📍 大安区羅斯福路三段 297-5 号 3 階

🕒 12:30 ~ 21:00 (月曜 - 金曜)

13:30 ~ 22:00 (土曜、日曜)

(毎月の定休日は Facebook ページに掲載されます)

04.-05. 个体户は店内で実際にレコードが流せるので、欲しい楽曲を見つけやすいお店です。



06

3 シャオソンチャンピエン 小宋唱片

人通りの多い道から少し外れた場所にある隠れ家的なレコード店となっていて、にぎやかな万華区の中にひっそりと佇んでいます。

ジャンルはジャズとクラシックが中心で、欲しいレコードは必ず見つかるといっても過言ではないほど膨大な量を取り扱っています。オーナーはレコードを知り尽くした人物なので、おすすめの品やレコードプレーヤーの使い方、手入れ方法を教えてくれます。店内はキレイに整理整頓されていて、お客さんに靴を脱いで入店させるほど徹底されています。欲しいものがすぐに手に入る時代に、高水準、高品質にこだわったノスタルジックなお店です。

📍 万華区西園路二段 225 巷 10 号

🕒 10:00 ~ 20:00 (日曜定休)

06.-07. 小宋は商品が整理整頓されているだけでなく、店内でレコードのクリーニングサービスも行っています。



07

4 グーディエンユエザン 古殿樂藏

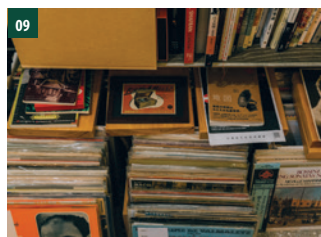
店名のとおりクラシック音楽を専門とするお店で、台北市北部にある MRT 明徳駅近くにありま。このお店は音楽サロンとなっていて、著名なクラシック作品を楽しむことができる空間です。オーナーは大変な歴史マニアで、ヴィンテージ・ミュージックを守ることに情熱を注いでいます。店内にある音楽作品も全てデジタル化して保存されていることから一般の CD ショップなどとは一線を画すお店となっています。他にも音楽と一緒に楽しめるように不定期でセミナーやワークショップなどを開催しています。ただ、このお店は常時オープンしているわけではないので、来店時には事前予約が必要です。

📍 北投区西安街一段 169 号 2 階

* 事前予約番号: 0975-057-467



08



09

08.-09. 古殿樂藏は大量のクラシックのコレクションがあるだけでなく、クラシックな家具を揃えることでレトロな雰囲気音楽が楽しめる空間を作り上げています。



10

5 THT RECORDS

レコード店、カフェ、バーが1つになったお店で、ビールを飲む、レコードを吟味する、ラウンジでくつろぐといったことができる空間です。また、最新のヒット曲だけでなく、インディーズロックやアフリカンミュージック、エクストリームメタルなどオーナー個人の趣味が反映されている点も特徴の一つです。

音楽が好きな人たちが集まり、お酒を酌み交わしながら音楽トークに没頭することができる心地よい空間になっていて、音楽の持つ力と愛情によって新しい出会いが生まれる他とは少し違った体験のできる場所です。

台北市中山区にあり、MRT 行天宮駅から徒歩 10 分の距離にあるので、ぜひ足を運んでみてください。

📍 中山区興安街 10-2 号

🕒 12:00 ~ 21:00 (水曜、木曜、日曜)
14:30 ~ 23:30 (金曜、土曜)

10.-11. THT はこじんまりとした中二階にあり、店内ではレコードを選ぶだけでなく、椅子に座ってコーヒーを楽しむこともできます。

12. レコード店巡りは昔の音楽を懐かしむだけでなく、過去の思い出を次の世代に継承する行為でもあります。



11



伝統とは人々を心地よくさせ、一体感があり、帰属感を提供してくれるものです。ただ、時代とともに変わるものであり、変わっていく必要があります。音楽も同様で、宗教や人種にしばられることなく、多くの人たちが一体となって楽しめるものであり、時代とともに流行やスタイルも変化していきます。

時代の流れに逆行して、レコードに注目する人もいますし、それを取り扱うお店は音楽に対する純粋な愛情があるからこそ今も残り続けています。ぜひ台北に来た際にはこうしたお店にも立ち寄り、過去の伝統に触れてみてください。📍

昔の台北を今に留める： 歴史ある旧市街 3 選

文 / Kai 編集 / 下山敬之 写真 / Taiwan Scene

” 芸術の目的は時間を止めることにある “

— Bob Dylan (ボブ・ディラン)

台北は世界的に見ても活気あふれる大都市の一つであり、多様な歴史や文化を学ぼうとする人たちが多く訪れる街でもあります。一見すると現代的な雰囲気に溢れていますが、実は昔ながらの旧市街が今も到るところに残っています。建物は現代風に改築されていますが、どのエリアも台北の古き良き時代を今に伝えている趣のあるスポットです。

ここでは、時間が止まったかのように現存している台北の旧市街を 3 つ紹介していきます。日本統治時代、国民政府移転時代、アメリカの戦後政策時代という台湾の大きな分岐点に関係する場所なので、ぜひこれらのスポットで台北の歴史を感じてみてください。





02



03



04

スースーナンツン

四四南村

観光客も多く訪れる信義区の一部にあり、ここにはいくつかの平屋が軒を連ねています。すぐ近くには台北 101 や高層ビルが立ち並び、新たに発展したエリアと昔ながらのエリアとのコントラストが歴史の光と影を感じさせてくれる場所です。

この地域一帯は 1948 年から 1999 年まで中国の青島から来た聯勤第四十四兵工廠という工場勤務の軍人とその家族のための住宅地でした。このような台湾独自のコミュニティは「眷村（軍人とその家族の村）」と呼ばれます。元々は中国南北戦争に敗北し、台湾に撤退した国民党軍の一時的な住居でした。

こうした地域の家屋は造りが脆弱で、月日の経過と共に過疎化や衰退、民族紛争などの問題が発生していきました。そうした背景から、政府は 1990 年に地域一帯をマンションに建て替える都市計画に着手します。

しかし、台北の文化活動家たちの尽力もあって四四南村は取り壊しを免れ、2003 年には台北市がこの一帯を「信義公民会館」として一般公開しました。現在でも展示スペースの制作が行われたり、家屋の原型を生かして軍人たちの生活を再現するといった活動が行われています。他にも独創性のあるレストランや文化を感じられるショップなどがあり、週末になると工芸品のマーケットも開催されているので、伝統を感じながら現代らしい時間を過ごしてみてください。

01. 四四南村の中には古民家や眷村だった時の様子が今でも残っていて、区域全体が 1950 年代の生活の記録を残す展示スペースとして機能しています。
02. - 03. 週末になると不定期でマーケットなどのイベントが四四南村の屋外スペースで開催されます。
04. 多くのクリエイティブな活動をする企業が四四南村の中でアート作品などの商品を販売しています。



05



06

チンティエンジェ

青田街

青田街は台北の中でも大きな賑わいを見せる大安森林公園の近くある小さな通りで、古い木々や日本風の家屋が建ち並んでいます。

この通りにある建物は、1895年～1945年の日本統治時代に台北帝国大学（現国立台湾大学）の教授や日本人職員の住居として使用されていたもので、終戦以降は教員寮になりました。

しかし、時代が流れ、都市の再生や開発が急速に進み始めると日本家屋や通りに並ぶ木々は少しずつ姿を消していきます。中には放棄され、ゴミ捨て場になった場所も少なくなく、この地域は次第に忘れ去られていきました。

幸いだったのは、完全に忘れ去られる前に市民団体が政府と協力して、この歴史的遺産を保存する方向に動き始めたことです。その結果、古い木造家屋はリノベーションによってレストラン、アンティークショップ、ティーハウス、ギャラリーなどの芸術と文化の入り交じる近代的な施設へと変貌を遂げました。中でも「青田七六」は保存状態の良い木造住宅であり、この地域の象徴ともいえる建物です。もともと数多くの教授が暮らしてきたこの住宅は、今では古風なカフェ兼レストランとなり、毎週開催されるガイド付きツアーでその歴史が解説されています。

台北の歴史の中で、人間性が忘れられたことは一度もなく、それは今後も変わることがないので、ぜひ青田街を散策して台北の情緒あふれる歴史に触れてみてください。

05. - 06. 青田街には青田七六などの日本統治時代の建物がキレイな状態のまま保存されています。

07. 青田街は緑の溢れる静かで落ち着いたある通りです。

08. 民生社區は並木道があり、とても静かな住宅街です。

09. 民生社區は多くのおしゃれなカフェがオープンしたことで、地域全体がアーティスティックな雰囲気になっています。

10. ここは第二次世界大戦中、捕虜収容施設でしたが、現在では民生中学校として生まれ変わりました。



07



08



10



09

ミンションシャーチュー

民生社区

松山区内にあるこの住宅街には、並木道やアートカフェ、複合ブティックなどがあり、都会の喧騒を忘れてのんびりと過ごすことができます。そんな現代の憩いの場にも忘れかけられた歴史があります。

そこには、日本統治時代の1936年に日本の空軍基地として建設された「松山飛行場（現台北松山空港）」が大きく関係しています。第二次世界大戦中、日本軍によって捕虜にされた連合国軍兵士は最終的に台湾の戦争捕虜収容所に送られましたが、民生社区内にある現民生国民中学校の一画が、当時の臨時捕虜収容所でした。

今ではその影もなく魅力的な通りとなっていますが、これは1960年代に台北市が初のアメリカ式コミュニティをモデルとした都市開発を行ったためです。その結果、

一帯には数多くの公園や緑地が設置されましたし、空港が近くにある懸念から建築物には高さ制限が設けられました。そのため、民生社区は4階建ての低層住宅が立ち並び、都市部のようなコンクリートジャングルを免れました。

現在、この地域の住宅は台北で最も古く、その多くは外壁がつる草で覆われていますが、内部は現代風にリノベーションされています。それによっておしゃれなカフェができるなど、コミュニティ全体も美くなりました。付近にある富錦街（フージンジェ）も木々が立ち並ぶおしゃれな通りなので、この地域一帯を散策して居心地の良い場所を見つけましょう。T

台北の 近現代芸術スポット

文 / Daria Lin 編集 / 下山敬之 写真 / 台北市立美術館、Contemporary by U、朋丁、空総台湾コンテンポラリー・カルチャー・ラボ、PLAYground 南村劇場

アジアの中でもグルメの街というイメージが強い台北ですが、近年では芸術の街としても注目を集めています。その立役者となっているのが Baboo、呉書原（ウーシューユェン）、許悔之（シューホイジュー）といった台北出身のアーティストやデザイナー、詩人などで、彼らが生み出すクリエイティブな作品が台北のアートをより親しみやすいものへと変化させています。アート作品の展示場所は台北市立美術館と台北当代芸術館が主ですが、他にも「耿画廊（ゲンホァラン）」や「也趣芸廊（イエチューイーラン）」などのギャラリー、「湿地（シューディ）」や「森 3 Sun Sun Museum」といった展示スペースも増えています。こうした背景から「台北当代芸術博覧会」が開催されるなど、台北のアート業界はかつてない盛り上がりを見せています。

台北では絵画や写真、建築から劇場などジャンルを問わず、さまざまなアートが楽しめます。ここでは、台北独自のアートスポットをいくつか紹介していきます。

01. 台北の現代アートスペースは新しいアーティストが作品を展示する場としてだけでなく、アート好きな人たちがリラックスしながら様々な作品に触れられる場所です。(写真/台北市立美術館)
02. 台北市立美術館は不規則な形をした外観と太陽光が差し込む大きな窓が有名で、明るい空間で様々な展示物が鑑賞できます。(写真/台北市立美術館)
- 03.- 04. Contemporary by U の展示スタイルは近現代の絵画からストリートアートまで幅広い範囲をカバーしています。(写真/Contemporary by U)



SPACE 1

台北市立美術館

📍 中山区中山北路三段 181 号

🕒 9:30 ~ 17:30 (日曜 - 金曜; 月曜定休)
9:30 ~ 20:30 (土曜)



台北市立美術館は 1983 年に設立された公立美術館で、花博公園美術園區の中にあります。この美術館は台湾の近現代アートに世に広める目的で作られ、現在では台北双年展やヴェネチア・ビエンナーレの台湾ブースの運営も手掛けています。また、多くの人にアートに触れてもらうために入場料も 30 台湾元と非常に安価ですし、ここ数年は館内での宿泊会や子供向けのワークショップなどのイベントも開催しています。今年の夏から秋にかけては「Between Earth and the Sky: The Spiritual State of Our Times」という特別展が計画されていて、現代人の精神性についての討論などが行われる予定です。



SPACE 2

Contemporary by U

📍 信義区忠孝東路四段 553 巷 42 号

🕒 11:00 ~ 20:00 (月曜定休)

2019 年末にオープンしたギャラリーで、次世代のクリエイティブが集う松山文創園區のすぐ隣にあります。決して大きなギャラリーではありませんが、草間彌生や村上隆、奈良美智などの有名な日本人芸術家、KAWS、WhIsBe、Jerkface といったアメリカのストリートアーティスト、さらに現代芸術家やポップアーティストの作品を厳選して取り扱っています。内装は極めてシンプルで、中にはカフェが併設されているなど、都会の喧騒の中でも心が安らぐ空間となっています。特に若い世代の来場者は大歓迎ということなので、アートの世界を堪能したい方はもちろん、コーヒーが好きな方もぜひ一度足を運んでみてください。



05



06

SPACE 3

ボンディン 朋丁

中山区の閑静な住宅街にたたずむギャラリー、書店、コーヒーバーが併設された複合施設で、アーティスト作品の展示スペースとしても有名な場所です。

お店の1階はコーヒーを飲みながら本や雑誌が読めるカフェのようなスペースで、2階と3階は厳選された地元デザイナーの作品や写真、イラスト、絵画、インスタレーションなど他ジャンルな芸術品を展示するスペースとなっています。芸術家やアートが好きなお客で運営されているので、作品の展示だけでなく定期開催されているワークショップなどを通じて、一般的な美術館やアートギャラリーには無い新しい体験を提供し続けています。

📍 中山区中山北路一段 53 巷 6 号

🕒 11:00 ~ 20:00 | 毎月最後の月曜定休

SPACE 4

空総台湾 コンテンポラリー・ カルチャー・ラボ

かつて国防部空軍総司令部があった場所に設立されたこの施設は、政府の方針により文化の発信拠点として生まれ変わり、現在では約7ヘクタールの敷地内に芸術・文化関連の非営利組織が数多く招かれ、革新的な展覧会、ワークショップ、教育プログラムなどを開催しています。

アートの共創空間、教育活動の拠点、他ジャンルの研究施設、国際的な滞在型作品制作の拠点など様々な側面を持つこの施設ですが、主な目的は多くの方がアート活動に参加できる場所として進歩していくことです。前衛的な現代アートが好きな方々に特におすすめな場所なので、ぜひお立ち寄りください。

📍 大安区建国南路一段 177 号

🕒 9:00 ~ 18:00 (月曜定休)



07



08

PLAYground 南村劇場

四四南村という場所にある小規模の独立系劇場兼書店で、歴史的な建物が立ち並ぶエリアをリノベーションした空間です。付近にはカフェが立ち並び、週末になるとマーケットも開かれます。また、台北 101 のすぐそばに位置していることもあって、観光スポットとしても人気です。

「PLAYground」という名前が表すように遊び心あふれる場所となっていて、書店スペースはよくライブパフォーマンスを行うために利用されています。様々な用途での利用ができるよう書店の本棚は簡単に移動できるようになっており、工夫次第で驚くような利用方法も可能です。イベントについては事前に公式 Facebook ページで予定を確認してください。

📍 信義区松勤街 56 号

🕒 10:00～18:00 (毎月の一歩最初の月曜定休)



05.-06. 朋丁は書店とカフェが融合したアールスペースとなっていて、アートをより一般人の生活に近い感覚で感じられる空間となっています。(写真/朋丁)

07.-08. 空総台湾コンテンポラリー・カルチャー・ラボは多くの人が現代アートに触れられるように、クリエイティブな展覧とワークショップを行っています。(写真/空総台湾コンテンポラリー・カルチャー・ラボ)

09. PLAYground 南村劇場はインディペンデントシアターとして劇団を招いたり、俳優による朗読劇など演劇のクリエイティビティを理解するためのイベントを開催しています。(写真/PLAYground 南村劇場)

10.-11. PLAYground 南村劇場は、劇場以外にも読書スペースを設置した書店があります。(写真/PLAYground 南村劇場)



かつての美術館と言えば好きな人だけが足を運ぶ限定的な施設でしたが、現在では「物」よりも「体験」、「制作」よりも「共創」、「静観」より「参加性」が求められています。多様な文化を受け入れている自由度の高い台北では、アートが一般的になっていく傾向は今後も加速していくことが予想されますし、ユニークなアールスペースの台頭によって業界もより発展していくことでしょう。📌

家族と過ごす：台湾の中秋節

文 / Adam Hopkins 編集 / 上山敬之
写真 / Aron Visuals, Taiwan Scene, Phushutter, Foto T
イラスト / ylenkeat

台湾では、旧暦 8 月15日に「中秋節」をお祝いする習慣があり、今年は10月1日（木）がその日にあたります。もともとは農業の収穫を祝う重要な行事でしたが、現在では主に家族が集まる日となっていて、家族で食事に出かける光景をよく目にします。また、この日は一年で最も月が大きく見える日と言われていて、大きな満月が家族の結束と一体感を表す象徴となっています。

中秋節の神話と物語

中秋節にまつわる物語は多くありますが、中でも「嫦娥奔月（じょうがほんげつ）」は有名です。かつて天には10個の太陽があり、それが原因で植物は枯れ、川は干上がり、人々の生活が脅かされていました。これを憂えた后羿（こうげい）という弓使いが、特別な力を秘めた弓を携えて崑崙山の頂上に登り、9つの太陽を射落としました。英雄となった后羿は嫦娥（じょうが）という美女と結婚しますが、ある時不老不死の薬を飲むと体が天に昇ってしまう、嫦娥を地上に残してしまうことから后羿は飲まずに保管をします。

しかし、悪人の逢蒙（ほうもう）という人物に薬のことが知られてしまい、后羿の家が襲われます。薬を守っていた嫦娥は、逢蒙に薬を渡さないために自ら不老不死の薬を飲み干します。その結果、嫦娥の体は天へと昇ってしまい、それを知った后羿は泣きながら空に向かって妻の名前

を叫びました。そこで、月がいつもより大きく、明るくなっていることに気づきます。

嫦娥が少しでも后羿の近くにしようと月に降り立ったためです。月の表面に嫦娥らしき影が見えた后羿はそれ以降、彼女が好きだった果物を供え、香を焚くようになります。周囲の人々もこの習慣を真似たことが、中秋節の始まりと言われています。

他にも「玉兔」という伝説では、飢えた老人に姿を変えた玉皇大帝が、さまざまな動物に食べ物を恵んでほしいと頼むと、サルは木の実を集め、カワウソは川で魚を捕り、ジャツカルはチーズを盗んで持ってきました。しかし、みずばらしいウサギは草しか集められず、老人がおこした火の中に飛び込んで自身を捧げようとしています。それを見た玉皇大帝は、ウサギを月に昇らせて、玉兔としたと言われています。玉兔は広寒宮と呼ばれる宮殿で、不老不死の薬を作っていると言われていて、無私無欲と自己犠牲の象徴として祀られています。また、玉兔はアジアで広く知

られる月のシンボルであり、嫦娥とも一緒にいると言われています。

「呉剛伐桂（こうさいけい）」という伝説では、木こりの生活に飽きた呉剛が不老不死の体を手に入れようと考えますが、飽き性の呉

剛はあらゆる長寿の法に手を出してはすぐに投げ出してしまいます。そんな様子の呉剛に怒りを覚えた玉皇大帝は、月にあるモクセイ（中国語で「桂」）の木を切り倒すよう命じます。このモクセイの木はどれだけ切っても自然に治

癒する特性があるため、切り倒すには休む間もなく切り続けるしかありません。しかし、呉剛は未だにこの木を切り倒すことができておらず、中秋節になると木を切りつける音が聞こえると言われています。





中秋節の伝統と習慣



月見

この日は必ず満月になることから、多くの人が家族で集まって月見をします。満月は家族の再会の象徴となっており、これまで何千年もの間、多くの詩人が故郷を懐かしみながら月を眺める詩を残しています。現在では公園や山で月見を楽しもうとする人たちが多いです。



一家団欒

中秋節は家族が集まる最大の機会です。これ以外で、仕事やその他の用事を忘れて家族が一堂に会する機会はあまりありません。中でも重要な行為が家族との夕食で、家族と一緒に過ごせない人でも夕食だけは一緒に食べようと家路を急ぎます。台湾では、この集まりを利用してバーベキューを楽しむ人も増えています。これは数十年前に始まった比較的新しい習慣です。他にも集まることができない家族に対してメッセージカードを送る習慣もあります。



(ユエピン)

月餅を食べる

中国の伝統的なお菓子「月餅」も家族の再会を表すシンボルで、よく家族の人数分に切り分けて食べられます。砂糖やハスの実粉末などの甘い餡が入っているものが一般的ですが、小豆や塩漬けの卵黄などの餡もあります。この習慣は中秋節ならではのもので、月餅の年間消費量が最も多いのもこの時期です。



(ウェンダン)

文旦を食べる

中秋節には、ブンタンと呼ばれるグレープフルーツに似た果物を食べる習慣もあります。文旦は中国語で「ヨウズ（柚子）」とも呼ばれ、中華圏では幸運と家族の結束の象徴として扱われています。これは「有子（子供の誕生）」と同じ発音であり、新しい家族の誕生を願うことにつながるためです。他にも嫦娥が好んだ食べ物という説もあります。

中秋節は春節（旧正月）ほど重要な祝日ではないものの、多くの家族にとっては大きな行事の一つであり、みんなが楽しみにしている祝日です。台湾に来た際には、ぜひこの日に月餅を食べ、親しい人に連絡をとったり、メッセージカードを送るなどしてみよう。

T



02



03

02. 文旦はまず皮の部分に自由な発想で絵や文字を書いてから食べるのが定番です。(写真 / Taiwan Scene)
03. 中秋節に家族で月餅を食べる風習は一家団圓の象徴となっています。(写真 / Foto T)
04. 近年では中秋節になると友人や家族と焼き肉をし、楽しい一時を過ごすという新しい風習が生まれつつあります。(写真 / PhuShutter)

04





台北の建築から見る 歴史の変遷

文 / Catherine Shih 編集 / 下山敬之 写真 / Taiwan Scene、Yenyi Lin、jon-flobrant

各国の文化が入り混じった台北独特の建築構造は、100年を超える歴史の変遷によって生まれました。特に日本統治時代から現在に至るまで都市の発展や開発を受けて建築物はさまざまな変化を遂げています。各時代の名残を見つけるには、建築の移り変わりを見ていくのが一番確実です。清朝統治時代以降、保安宮に収蔵されている「交趾陶」という芸術品の鑑賞もお勧めですし、戦後も姿を変えずに残っている中華民国総統府などに足を運ぶと変化の軌跡がよくわかります。

2020年は、台北市設立100周年の節目ということもあり、台北随一の建築史学者兼ガイドの鄭勝吉（ジェンシェンジー）氏を招き、台北変革の背景にあるユニークな歴史についてお話を伺いました。



ジェンシェンジー

鄭勝吉

10歳から建築に興味を持ち、大学でも建築を専攻。40年近く建築業界に従事し、台湾の歴史的モニュメントの研究をしてきた経歴から伝統建築を紹介するガイドも務める。台北の建築美を歴史的観点から鑑賞するというスタイルで、台北に残る各時代の建造物の素晴らしさを理解してもらうためのツアーを行っている。

Q: 台北の建築とその外観はいつ頃から変化していったのですか。

A: 台湾の歴史は植民地として統治されてきた時代ごとに特徴づけられることが多いですが、建築の歴史においても同じことが言えます。建築史学者として建築物の変遷を論ずる際に、私たちはオランダ統治時代を始まりとして、スペイン統治時代、明鄭統治時代、清朝統治時代、日本統治時代、第二次世界大戦後以降と、それぞれの植民地時代で分類することが多いです。各時代の建築の名残を見る際には、まず歴史と政治の影響を認識することが重要です。特に台湾の発展は、台湾南部にある台南から始まり、徐々に台湾北部へと広がったため、台北の建設と発展は比較的遅くから始まりました。したがって、台北の建築の発展に影響を与えた主な時代は、清朝統治時代、日本統治時代、第二次世界大戦後の3つの時代に絞られます。



03

- 01. 美しい赤レンガと石の彫刻を特徴とするレトロな建築物は大稻埕の代表的な風景となっています。
- 02. - 03. バロック様式の装飾とアーチ構造の窓などの西洋建築特徴は日本統治時代に台湾に伝来したもので、大稻埕にある多くの建物でそれらの痕跡を見ることができます。



02



Q：各時代における台北の建築スタイルと主な特徴を教えてください。

▲ 清朝統治時代は、現在の福建を中心とした閩式と呼ばれる建築様式が主流でした。木材、赤レンガ、白の石壁、木彫りの立体装飾、壁画が主な特徴で、一部の寺院の屋根には交趾陶が使用されていることもあります。

日本統治時代は、西洋化した日本の影響から西洋の文化が流入しました。黒い瓦屋根に完全木造建築という伝統的な日本家屋も建造されましたが、日本の伝統的な建築技術と西洋の様式が融合した建物が大部分を占めていました。こうした建物には多くの流派が存在し、その中には英国ビクトリア朝時代の建築や、石を使って堅固で壮大な外観を作り出したドイツの新古典主義建築など、ヨーロッパの影響を受けたものがあります。また、この他にも折衷主義建築というものもあり、これらは通常、近代のセメントで建造され、大きなアーチ

型窓、西洋彫刻、日本家屋の黒い屋根瓦といった古典的な装飾が施されていました。

最後に第二次世界大戦後ですが、2つの重要な建築様式が存在します。その1つである地域主義は一種の「レトロ」建築様式であり、伝統的な中国建築様式や閩式建築の特徴を盛り込むことで地元の建築物を守る目的があります。1981年以降はモダン建築様式が台頭し、諸外国と同様に、さまざまな形の建物や個人のスタイルを反映した建物が台北にも次々と出現していきました。

Q：古跡や建築物の保存に関する問題や課題について教えてください。

▲ 台北に関しては、多くの人が1960年代まで古跡を保存することの重要性をあまりよく認識していなかったことが問題でした。当時、こうした史跡の保護または保存のための国の法律や予算が定められていなかったのです。加えて、当時は急速な近代化を進めるために、深く検

討せずに多くの古い建物が解体されました。そのため、当時は突然「隣のあの古い建物がなくなった」と気付かされることがよくありました。

大衆の考え方を一変させた大きな転機となったのが林安泰古厝でした。当時、この住宅は、現在の敦化南路エリアにある、シャングリ・ラファリー・スタン・プラザホテル台北（台北香格里拉遠東国際大飯店）の真向かいにありましたが、道路の拡張に伴い解体のうわさが地域内に広がりました。これを受けて、こうした歴史的建築物の保存に対する意識が徐々に広がり

04. - 06. 建築物の彫刻芸術を細かく観察すると、西洋とローカルの彫刻の特徴が混ざり合っていることがわかります。

台北の 建築様式の変遷

START

1683

清朝統治時代



閩式建築

例：林安泰古厝民俗文物館

日本の伝統技術と西洋の
様式が融合した建築様式

日本の伝統建築様式

1895

日本統治時代

モダン建築様式

古典主義建築様式

例：臨濟護国禅寺



折衷主義建築

ビクトリア朝時代
の建築様式

ドイツの建築様式



例：国家摄影文化センター



例：總統府



例：国立台湾博物館

1945

第二次世界大戦後

現在

モダン

例：台北 101

地域主義

例：国立国父紀念館





07

始めたのです。地元のアーティストや文豪たちが、この伝統的な閩式建築を守るために立ち上がったことをきっかけとして、1982年に文化資産保存法が制定されました。最終的に、林安泰古厝は保存するために移築されました。政府はこれを機に歴史的な古跡の分類と、新しい法律に則った長期保存計画の策定に積極的になっていきます。

ただ、残念なことに法律だけではこうした歴史的建築物を保護することはできません。古い建物の所有者は、実は地元住民だったりするのですが、史跡を保護することの価値や重要性を教えられたり、自ら学んだ経験がありません。建物があまりに古い場合は、保存に多額を投じるよりも最高額を提示する請負業者に売却してさっさと利益を得ているのが現状です。そのため、当局が文化遺産保存を推進することがとても重要で、各復元プロジェクトの品質や実行に直接影響する予算の割り振りも必要になります。さらに、世代を減ること

に様々な技術が失われてしまったため、復元の知識と技法を受け継いでいくことも同様に重要となるでしょう。

Q：台湾の代表的な建築家と作品で知っておくべきものはありますか。

▲ 1950年代から1960年代にかけて、海外で勉強をして台北に戻ってきた建築家が急激に増えました。彼らの多くは、ヨーロッパやアメリカの著名な建築家に師事した人たちで、台北のモダン建築に多大な影響を及ぼしました。

その中の1人が米ハーバード大学建築学部を卒業した王大閼（ワンダーホン）で、ルーヴル美術館のピラミッドなどを手掛けた建築家イオ・ミン・ペイ氏と同窓です。彼の作品は国立国父紀念館、台湾大学法学部万才館などで展示されています。また、王氏が独身時代に住んでいた建国南路の自宅も興味深いです。赤レンガを使用しているだけでなく、床から天井まである大きな窓、中庭の設置など当

時の人々にとっては、そのすべてが新しいコンセプトでした。住宅は後に解体されましたが、最近になって彼の教養子数名が資金調達を行い、正確なレプリカを再建しました。レプリカは、「王大閼建築劇場」として現在台北市立美術館の隣に展示されています。

もう1人、同時代の建築家で忘れてはいけないのは、蒋介石が名付け親となった修澤蘭（シヨウザラン）です。当時、台湾の建築界には4人しか女性建築家がいませんでした。その中でとりわけ存在感を放っていた修氏は、「台湾初の女性建築家」として名をはせました。その作品は、レトロな地域主義建築を代表するもので、陽明山中山楼、台北市立景美女子高校の図書館と管理棟など、著名なものが多数あります。

Q：台湾を訪れる外国人観光客に一番お勧めしたい台北の建築物とその理由を教えてください。



台北にある建築の変遷を体験するなら、まずは大稻埕埠頭の周辺を巡ることをお勧めします。前世紀からの建築の移り変わりのほぼすべてが、この街の5平方メートルほどの小さな一面に集約されています。たとえば、台北霞海城隍廟といった寺院には、屋根に飾られた交趾陶や閩式の建築物、壁画もいくつか見られます。また、迪化街を訪

ねると折衷主義建築様式で建てられた老舗漢方薬店「乾元参薬行」など、日本統治時代の建築物もたくさんあります。こうした建物の屋根には家紋や商い（台湾茶、漢方薬など）、生涯にわたる繁栄を表す猫や野菜の穂先など様々なシンボルがヨーロッパ様式の彫刻で刻まれています。顔義成商会などもこの様式で建

造されましたが、新旧の建物が混ざり合うことで台北市内に平和と調和を作り出しています。付近には様々なお店があるので、建築物を楽しむつ、地元のグルメや音楽、文化なども楽しめます。また来たことが無い方は、ぜひこの地域を訪れ、台北の建築の歴史に浸ってみてください。

T

07. 閩式建築の代表である林安泰古厝は、古蹟保護運動後に中山区へと移築され、その後長きに渡って保存され続けています。(写真/Taiwan Scene)
08. 鄭先生は初めて台北に来るなら、大稻埕と迪化街を歩いて現地の風情を味わってみてほしいと話します。
09. 乾元薬行の建物に刻まれた高麗人参の彫刻は、日本統治時代に流行した折衷主義建築の影響を受けています。
10. 王大閩の自宅は台北市立美術館の横にある公園内に再建され、一般開放されています。(写真/Taiwan Scene)



01

台湾の音楽業界に精通している人であれば、台湾のジャズの発祥がどこかわかると思います。ここではそんなジャズの聖地を紹介していきます。

Blue Note Taipei 台北藍調 (タイペイランディアオ) というお店は 1974 年から今に至るまで各国のプレイヤーたちがこの場所でジャズの演奏を行っています。今季の『TAIPEI』では、創業者の蔡輝陽 (ツァイホィヤン) 氏からお店を引き継いだ黄信哲 (ホァンシンジャー) 氏にお話を伺いました。二人とも親しみやすく、阿哲は「阿哲 (アージャー)」、蔡氏は父のように優しいことから蔡爸 (ツァイバー) という愛称で親しまれています。以下インタビュー内でも同様の名称で表記しています。

Blue Note Taipei: 台北ジャズの聖地

文 / Rick Charette 編集 / 下山敬之
写真 / Samil Kuo, Yenli Lin, 台北市文化局





パイオニアの偉業

Blue Note Taipei は、創業者の蔡爸が開業したお店です。「Blue Note Taipei」は、1974年に永康公園近くの小さなスペースでオープンし、ジャズとブルースのレコードや楽器の販売を主としていました。」と阿哲は話します。蔡爸はスペースを広げるために1978年にお店を移転、そこからさらに移転を行って現在の場所に落ち着きました。

お店は、羅斯福路と師大路の交差点にある古くて小さな商業ビルにあります。「かなりの期間、レコードと楽器の販売以外に、飲食業やライブハウスをするなど2足のわらじで経営してきました。午後にはジャズのレッスン教室を開いていたこともあります。」と阿哲は振り返ります。

「蔡爸は演奏者でもあったので、特に若いころから幾夜もステージで演奏していました。」それから徐々に事業をシンプル化し、蔡爸は奥さんと2人でライブ演奏だけをするようになりました。現在

も、夜8時から深夜までと短い営業時間で、食事やドリンクメニューも、シンプルにしているそうです。

店名については多くの方が、ニューヨークの有名な「Blue Note Jazz Club」にちなんでいると誤解するそうです。「あのお店は1981年開業なので、実はこちらの方が早いんです。当店の名前は、1939年に創設されたジャズ界最強のレコード・レーベル Blue Note Records からつけています。

また、ブルーという文字が含まれているので、ジャズとブルースの両方を行うと思われるのですが、基本はジャズ一筋で、ブルースはたまにやる程度です。」

01. 台湾でジャズを楽しむのであれば多くのファンが立ち寄る Blue Note Taipei がおすすめです。(写真 / Samil Kuo)

台北ジャズの象徴になるまで

Blue Note Taipeiの開業当初は、台湾でジャズが流行っておらず、その存在はほとんど知られていませんでした。当時、テレビのチャンネル数は3つで、地元のラジオ局でかかる西洋音楽が主流でした。また、戒厳令時代になると、海外旅行にもでかけられず、ジャズに触れられる機会は駐留する米軍兵士からしか有りませんでした。阿哲はもとも働いていた会社の上司が演奏していたことがきっかけでジャズに触れました。「心を掴まれました。変則的なベースとリズムが好きでした。」と阿哲は言います。

「当時のBlue Note Taipeiは、本場のジャズが楽しめる数少ない場所の1つでしたが、私みたいに本格的にハマる人はごくわずかでした。」1987年に戒厳令が終わると、海外留学や旅行へ行く人が増え、新たな関心事を台湾へ持ち返るようになりました。

Blue Note Taipeiで、当時

からほとんどプロモーションをしていないそうです。ウェブサイトはあるものの、基本的には地元のジャズ通の音楽愛好者たちが自然に増えていきました。ジャズ専門のライブハウスなどは新しい場所ができては消えていきました。が、このお店は台湾国内随一のライブハウスという評判を早くから確立していました。

「演奏家、音楽ファンどちらも自らこのお店を見つけてやってくるので、売り込みをする必要がありません。客層は幅広く、地元の人たちが外にも、何十年も通い続けている常連、新規の若いお客さんも次々とやって来ます。また、毎晩ライブを見に来るお客様の3分の1は観光客で、台湾在住の外国人や海外から来る人も多いです。総じて台北のジャズについてネットで調べてから訪れる音楽愛好者は多いです。」阿哲は姉の黄丹（ホアンダン）氏（愛称はCarter）と一緒にお店を運営していますが、二人は国内外からやってくるお客さんたちとジャズを通して親交を深めています。



02. 阿哲（左）はお姉さんのCarter（右）と一緒に創業者の蔡爸から事業を引き継ぎ、力を合わせてBlue Note Taipeiを運営しています。（写真/Samil Kuo）



03

阿哲が働き始めたのは2001年からだそうです。「姉は私より先にバーテンダーとして働いていました。他の店で働いていた時の上司と蔡爸が友人関係で、そのツテで蔡爸からバーテンダーとしてお店を手伝ってほしいと誘われたそうです。最終的にはこのお店の音楽の虜になりました。」阿哲本人はというと、自らこのお店で働くよう

になり、最終的に経営に携わらないかと誘われて現在に至ります。「蔡夫妻が引退する前にお店を売るか潰すという話がありましたが、最終的に私と姉が引き継ぎました。蔡爸と私たち姉弟は、上司と部下というよりも親子のような関係でした。」二人とも音楽に對する強い情熱を持っています。お店は今でも蔡爸が開業



04

03. 多くの人たちがジャズのアルバムや演奏を見に Blue Note Taipei を訪れ、最終的には長年通い詰める常連へと変わっていきます。
04. 入り口を照らすネオンライトは台北ジャズのシンボルとなっています。

した当時の面影を残していて、入口のネオンライト、壁一面を埋め尽くすジャズのレコード、グランドピアノが置かれた小さなステージなど全てが Blue Note Taipei の象徴です。「蔡爸とジャズを何十年も愛し続けているお客様のためにも変わらずに残しておきたいのです。」と阿哲は言います。

最高のプレイヤー たちが集まるス テージ

台湾の「ジャズの聖地」である Blue Note Taipei は、お客だけでなくプレイヤーも自ら進んでお店を訪れ、このステージでの演奏を願ひ出ます。平日は毎晩違うグループの出演が予定されていて、新しいプレイヤーも参加できます。週末は台湾のグループと台湾在住の外国人グループの中から選りすぐりの常連グループが演奏を繰り広げます。「毎週土曜は KU カルテット」という日本人ピアニストの烏野薫と台湾人サックス奏者の李承育（リーチェンユー）が率いるグループが演奏をします。烏野と李は、20 年近く台北でジャズを教えていて、彼女たちのような音楽家がさらに多くのプレイヤーたちを店に呼び込みます。これこそがジャズを受け継いでいく方法だと思ひますし、そのために Blue Note Taipei がいつまでも高いクオリティのパフォーマンスをお届けできることが何よりも肝心です。」

若手のプレイヤーの中には烏野氏が指導する若手ジャズオーケストラ、李氏が輔仁大学音楽学科で教えているバンドがあり、どちらも Blue Note Taipei で演奏をしています。

外国人のプレイヤーはウェブサイトで経由で直接連絡してくるか、交流のある台湾のジャズミュージシャンを通じて連絡してくることもあり、主にベテランの演奏家や、何年も海外で勉強してきた人たちが多いそうです。海外の大物ミュージシャンには、ラルフ・ララマ (Ralph Lalama)、ジェリー・ウェルドン (Jerry Weldon)、ローマン・ヴルブレフスキ (Roman Wroblewski) とヘンク・クラライエフェルト (Henk Kraaijeveld) などがいて、最近だと日本出身のサックスマスターの大山日出男と、スペイン出身のバンドモーリン・チェカルテット (Maureen Choi Quartet) が出演をしています。

また、「台北ジャズフェスティバル」や「台中ジャズフェスティバル」に出演する

05. 烏野薫が率いる KU カルテットは毎週土曜になると Blue Note Taipei で演奏を行い、ファンたちを楽しませています。
06. 毎年屋外で開かれるジャズフェスティバルは、世界中の有名なジャズバンドの演奏を聞こうと会場から溢れるほどの観客が集まります。(写真 / 台北市文化局)



05

海外グループが、お店に立ち寄ってセッションすることもあるそうです。その際は事前交渉が必要で、2018年には「台中ジャズフェスティバル」に出演した、アメリカ・カリフォルニア州サンノゼ出身の「サンホゼ・ジャズ・コレクティヴ (SN Collective)」が交渉の末、参加していて、2019年のアジアツアー中にも再演を果たしています。ソロプレイヤーも同様で、連絡なしでいきなり来ることはなく、事前に出演の段取りを行っている「Carter」は話します。「フエスに複数回出演しているアーティストも、当店で何度も演奏していて、私たちもかなりの人数のアーティストたちと交友関係を持っています。」

最高のプレイヤー たちが集まるス テージ

阿哲に台北の音楽に興味があり、特にジャズに興味がある人が訪れるべき場所はどこかを訪ねると、「まずは何度か当店に足を運んでくださ

い。その上で外せないのが、Sappho Live Jazz「台北ジャズフェスティバル、台中ジャズフェスティバルです。」と答えてくれました。

Sappho Live Jazz は、ライブジャズ専門の音楽クラブで、カジュアルな雰囲気とプロのジャズ演奏が楽しめることで知られています。安和路で約15年営業したのち、MRT 中山國小駅付近に移転しました。台北ジャズフェスティバルは、2007年以来年に1度開催されています。大安公園で、国内外の最高のジャズバンドによる大規模な屋外コンサートが繰り広げられます。台中ジャズフェスティバルは、台北から車で約90分の西海岸沿いにある台中市で年に1度開催されています。

Blue Note Taipei は、台湾の近代歴史と芸術性が直に体験できるスポットです。ぜひ音楽が好きな方は足を運んでみてください。

T

Blue Note Taipei (台北藍調)

📍 大安区羅斯福路三段 171 号 4 階

🌐 bluenotetaipei.com

「台北ジャズフェスティバル」

🕒 10/1 | 15:00 ~ 17:50 @ 大湖公園

10/2 | 15:00 ~ 17:50 @ 林森公園

10/16 ~ 10/18 | 18:40 ~ 20:30 @ 忠誠公園

10/23 ~ 10/25 | @ 大安森林公園 (各日 4 回公演)





01

台北のドラッグクイーン 人々を魅了するカフェ

文 / Seb Morgan 編集 / 下山敬之 写真 / Samil Kuo

台北では同性婚が認められて以降、台北のドラッグクイーン（女性に扮した男性パフォーマー）の人気はますます高まっています。また、LGBTQI+ たちの祭典「台湾プライド（Taiwan Pride）2020」に先立ち、彼女たちのパフォーマンス・アートについても理解していきましょう。

台北は数年前に LGBTQI+ の代表的な地域として台頭して以来、LGBTQI+ 関連のイベントはますます盛り上がりを見せていて、10月に行われる「Pride Month」は、もはや東アジア最大のイベントと言っても過言ではありません。他のイベントでも、ドラッグクイーン界のスーパースターが集まったり、さらにドラッグ・キングという新興文化が生まれるなど大きな変化も起こっています。

ここでは、ドラッグクイーンを台北に広めた Café Dalida とそこで働くドラッグクイーンたちに焦点を当て、彼女たちがどのようにして今に至るのか、長年に渡る歴史を紹介していきます。

時代の変化

Alvinは、台北で最も人気のあるゲイバーCafé Dalidaのオーナーです。彼は、LGBTQ+のコミュニティが台湾で異端視されていた時期を思い出して、「ゲイであることを知られたくなかった」と話します。

20年前、台北の「LGBT系」のお店は大半が地下にあるバーやカフェで目立たないよう運営されていました。当時は、夜にバーでカラオケをしたり、チャチャを踊ったりするのが一般的で、ドラッグのようなパフォーマンスマンソも存在はしていましたが、そのほとんどは紅頂藝人（ホンデインイーレン）という劇団が行う大道芸のようなスタイルのショーでした。「ドラッグクイーン」というよりも、単純に男性が女性の物まねをしているだけでした」とAlvinは言います。

Alvinは学生時代にヨーロッパ中を旅し、ポップスとウェスタンスタイルのドラッグクイーンに夢中になりました。台湾帰国後、現在は開店

したクラブ「Source」で初のゲイナイトを主催し、海外のスタイルを台湾に持ち込んだのです。当時唯一のドラッグクイーン・イベントには、国内外のタレントが参加し、中には後にテレビや映画の世界に進出した人もいます。しかし、Alvinは台北のゲイシーンの閉鎖的な性質が嫌だったそうです。「狭い空間で服にタバコの臭いを付け、夜明け前にクラブを出るのではなく、包み隠さず堂々と昼間から過ごせる空間を作りたかったのです。」

01. 台北に来てアジアで最もクリエイティブで、多様な演出が見られるドラッグクイーンのショーを体験しましょう。
02. ヨランダ（左）、キミー（中央左）、エルジャ・ハイツ（右）、マリアン（中央右）はドラッグクイーン文化を広げる努力をし、さらにCafé Dalidaという成長の場所を与えてくれたAlvin（中央）に深く感謝しています。

“私が Drag Labs を始めたのは、台北で新しいクイーンを発見して、その人が自分の才能を披露できる場所を提供したいと思ったからです。”





03

スポットライトを 浴びる台北のドラ アグクイーン

2006年、Avinは西門紅樓の近くにあったお店を安い家賃で借りました。この路地は、周囲のにぎやかな通りからは見えないようになっていたため、屋外でもゲイバーであることを気にする必要がありませんでした。Avinと共同創設者は、フランス人歌手でゲイのアイコンである人

物に因んで、「Cafe Daïda（カフェ・ダリダ）」と名付けました。

「ル・ポールのドラッグレースのおかげで人気に火が付いたのだと思います。」とAvinは、台北のドラッグカルチャーの原動力がDaïdaだけにあるのではないといいます。しかし、このバーが台北でのドラッグの普及の中心的な役割を果たしていることは否定できません。数年前、Daïdaは毎週金曜か土曜に

ストリートのドラッグショーを始め、大成功を収めました。特に「Drag Labs（ドラグラボ）」は大観衆を集め、Daïdaで初舞台に立つ多くの新人クイーンのお披露目の場となっています。これは、Avinの長年の夢でした。「私がDrag Labsを始めたのは、台北で新しいクイーンを発見して、その人が自分の才能を披露できる場所を提供したいと思ったからです。」



04



06



05



08



07



09

地元のクイーンが 自分自身を表現で きる場所

クイーンたちがやりたいようにパフォーマンスをさせるというAvinの方針は、観客とクイーン双方から支持されています。「Avinに出会っていなかったら、私はドラッグクイーンの世界に入ることはありませんでした。」と、パフォーマーのヨランダ・ミラン (Yolanda Milan) は話します。「オーナーの中には、女性的な表現をしてほしいとか、ヒット曲だけを歌ってほしいと言う人もいますが、Avinはそんなことは言いません。ドラッグクイーンはただの女装やモノマネではなく、パフォーマンスを自分のキャラクターに合わせて高めていく一つの芸術であることを理解しているからです。」

Dalidaは、クイーンたちにとって、台北ならではのショーを行う実験の場です。レギュラークイーンの一人であるニンフィア・ウィンド (Nymphia Wind) は「ここ

も新鮮です。私たちは、大半が観客の期待しているものとは違ったクイーンを演じます。」と話します。他にも、キミー・グリーンティ (Kimmy Green Tea) やマリアン (Marian) のように、ドラッグに笑いや可愛らしさというエッセンスを吹き込んでいるパフォーマーもいます。「本当にパフォーマー次第で、私たちはドラッグを自分のものになっています」とニンフィアは言います。

- 03. 西門紅樓の周辺にはCafé Dalidaを含む多くのLGBTQI+系のバーやレストランがあります。
- 04. - 06. 快適な屋外空間を持ち、壁には落書きやネオンが飾られるなど活気あふれるバーとして知られるCafé Dalidaには異性・同性愛者問わず多くの人が訪れます。
- 07. - 09. ドラッグクイーンたちは自ら衣装と化粧をデザインし、毎回のステージで唯一無二のパフォーマンスを披露しています。



11



10

台北においてダイナミックなドラッグクイーンスタイルを取り入れている場所は、Dalida だけではなくありません。毎月開催される「Busht at BL」や「Pawshop」の「CampX」といったイベントでは、観客がドラッグの多様性を体験し、その魅力を知ることが出来ます。「ドラッグクイーンとは、見た目や振る舞いの多様性を示すもの」とヨランダは説明します。「私のように、男性であると認識しながらとても女性的な人もいます。昔は否定されていたけど、今はドラッグクイーンを通して、自身の女性らしさに気づけた喜びを表現することが出来ます。」

地域社会に変化を生み出すドラッグクイーン

ゲイの男性が自分の女性らしさを受け入れるという思想は、まだ世界の大半では受け入れられていません。「20年前までは台湾にも多くのクイーンがいましたが、ドレスを着ていては彼氏ができないという考えから、多くのドラッグクイーンが辞めてしましました。」と Alvin は振り返ります。そうした経緯から、しばらくの間、Dalida に出演するドラッグクイーンは外国人しかいませんでした。

Dalida のオープン当初、台北では伝統的なゲイバーが主流だったので、Alvin が初めてドラッグショーを開催した時は、客から「うるさい」「邪魔だ」という苦情を受けました。しかし、2017年に同性婚が容認されたことで、雰囲気は一変しました。「これで、もう隠す必要はないと感じました」と Alvin は言います。多くの人たちは、このムーブメントのおかげで気が楽になったと感じています。「多くの男性は心の中に小さな女の子がいます。彼らはそれが露呈するのを恐れているのです。でも、GStar という大型ゲイダンスクラブでは、ゲイが自分の女性的な側面を受け入れているシーンを目にするなど変化も起きています。もう偽る必要はないのです」

台北ではドラッグが一般の人にも受け入れられるように



13



12

10. - 11. 世界中のあらゆるドラッグクイーンショーと同じく、リップシンクのパフォーマンスは最高潮の盛り上がりを見せます。

12. - 13. Café Dalida ではドラッグクイーンたちが観客に近づいていくので、至近距離で接することができます。

なったことで、Alvinはアーティストとしてのドラッグを特に西門地区周辺の一般人に伝える機会と捉えるようになりまし
た。「パフォーマンスの前に近所のおばあさんがバーの前を通り、明らかに嫌な顔をしました。でもショーが進むにつれて、しかめっ面はだんだんと消えていき、最後には態度が一変していて、ドラッグクイーンを大好きになっていました。」

東区の高級バー「Bell's」は、キャバレーの一環として毎晩ドラッグショーを開催しています。Alvinは、このバーのように「LGBTQ+」の文化に触れる機会のない人たちの前でショーを行うこととはとても重要なことだと説明します。

重要な理由

Alvinは、Café Dalidaが成功したのは、以前、蘇貞昌（スー・ツェンチャン）台湾行政院長を始めとするエリート政治家たちが来店したことがきっかけと話します。「当時、政府の人たちは私たちの本当の望みを知らうとし

ていると感じました。」

「台湾政府の役割は学校の教科書に「LGBTQ+」について盛り込むなどで支援をすることです。「LGBTQ+」に対する認知度を高めることで、周囲の無知を払拭できるのです。」

台湾のドラッグクイーン業界は教育を行い、人々の関心を寄せるに値するものです。パフォーマンス・アートとしてのドラッグクイーンは極上のエンターテインメントになりますが、クイーンやコミュニティにとってはそれ以上の意味があります。かつてDrag Ladsでパフォーマンスをしていたマリアンは、「ドラッグクイーンは自分自身になるための方法で、普段はあってしないようなことができます。そうした台湾のドラッグクイーンやキングのパフォーマンスは大喝采を受けるに値します」と語っています。



▶ ビデオインタビュー



14. 10月31日に開催される予定の2020 Taiwan LGBT Prideでは、西門町と同じ虹の横断歩道が市政府広場にも描かれます。

Café Dalida

📍 萬華区成都路 10 巷 51 号
🕒 19:00 ~ 3:00 (日曜-木曜)
18:00 ~ 4:00 (金曜と土曜)

2020 Taiwan LGBT Pride

📅 10月31日
🌐 taiwanpride.lgbt

台湾プライドのドラッグで、「最高」の体験を

「2020 Taiwan LGBT Pride」では、ドラッグクイーンショーやパフォーマンス、パーティーなど、様々なプログラムが用意されています。今年のイベントは「私らしく、美しく」をテーマに、台湾のLGBTQ+に対する意識を高めることが目的です。パレードは10月31日の予定ですが、「レインボーマーケット」というイベントも開催されるので、おそろいのTシャツを着てイベントを応援しましょう。レインボーマーケットは、台北市庁舎の向かいで開催されます。新しく舗装されたレインボー横断歩道と、イラストレーターZoo of Depression（厭世動物園）による愛らしいマスコットが目印です。

台北屋台料理 2.0

現代風の伝統料理を提供するお店 5 選

文 / AYCC 編集 / 下山敬之
写真 / April Chen

アジアにおける食文化の要とも言える台湾にはタピオカミルクティーを始め、臭豆腐（チョウドウフ）、油で揚げた鶏排（ジーパイ）など屋台で販売されている美味しい料理や飲み物が豊富にあります。一般的に屋台料理は不健康で脂っこいものと思われがちですが、一概にそうとは言えず変化の激しい台北の生活様式の中で食も進化を続けています。例えば、伝統料理に漢方を組み合わせ

たり、食材をアレンジしてこれまでとは全く異なる味付けにするなどです。今季の TAIPEI では、屋台料理にアレンジを加えて新しい料理へと昇華させた5軒のレストランを紹介していきます。それぞれのお店では、過去幾世代にも渡り継承されてきた本格的な台湾料理の精神はそのままに、食材を大胆にアレンジして異なる料理へと進化させた屋台料理バージョン 2.0 を提供しています。



01



02

① ジャオズラ 餃子楽

30 年以上の歴史を持つレストラン「王家水餃」の2代目オーナーが開いたこのお店は、伝統的な木製のテーブルと現代風でシンプルな内装が組み合わされています。看板メニューは秘伝のレシピに従って作られた豚肉とニラがぎっしり詰まった手作り餃子です。他にも豚ひき肉、クログワイ、黄ニラに新鮮なエビのむき身が丸々一匹分入ったエビ餃子もおすすめの一品です。また、このお店では地元の食材にこだわっていて、東門店では通常の餃子に花蓮（ホアリエン）名物の青唐辛子の醤油漬けを混ぜることで、伝統的な屋台料理に新たな味わいを添えています。

📍 大安区金華街 223-3 号（東門店）

🕒 11:30 ~ 14:00、17:00 ~ 21:00（日曜定休）

01. 豚肉とニラの水餃子、エビ餃子の他にもきゅうりのおひたしや漬物など餃子に合うサイドメニューもあります。

02. 餃子楽ではメニュー以外に明るく温かい快適な食事空間も提供しています。

② シーユー 時寓

MRT 松江南京駅近くにある隠れ家的なレストランのこのお店は、店名の「時寓（時計のアパート）」が示すとおりアパートの一室にあり、壁一面にはアンティークの時計が飾られています。看板メニューは母直伝のレシピを健康的に仕上げた煮込み牛肉麺の「来金」で、母親の名前が由来の一品です。伝統的な牛肉麺は醤油ダシがベースですが、このスープには玉ねぎ、リンゴ、キャベツ、トウモロコシなどの有機野菜と果物、麦門冬や紅棗など 12 種類の漢方が入っています。また、夜になるとスタイリッシュなバーになり、賞を獲得した台湾産ウイスキーの「OMAR」も味わえます。

📍 中山区建国北路一段 68 号 2 階

🕒 12:00 ~ 14:30、18:00 ~ 22:00 (水曜 - 金曜)
12:00 ~ 15:00、18:00 ~ 21:00 (土曜、日曜)
月曜、火曜、毎月第二日曜定休

03. - 04. 母から受け継いだ牛肉麺以外にも滷味の盛り合わせなどおすすめのメニューがあります。

05. 時寓は牛肉麺に薬膳を取り入れただけでなく、店内にある漢方の収納棚を食器棚に改造して雰囲気のあるお店作りをしています。



03



04



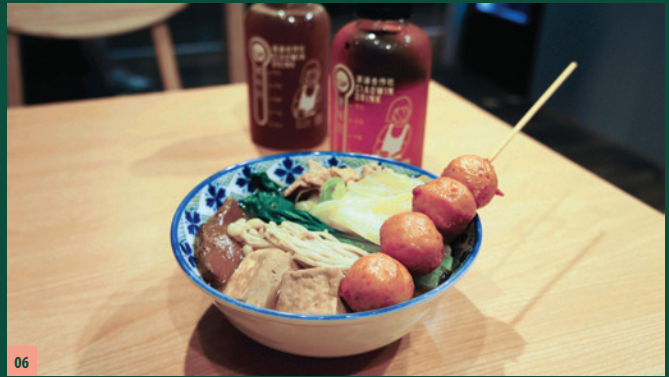
05

③ チャオウェイジュエ 潮味決

台湾でポピュラーな滷味（ルーウェイ）は顧客が具材を指定し、お店がそれを醤油ベースのスープで煮込む伝統料理です。滷味といえば屋台が定番ですが、このお店では現代風なお店を構えていて、メニューも店名の「潮味決（「潮」が「流行」、「味決」は「味」と「対決」という意味）」が示すとおり台湾人にとっての伝統料理である火鍋と滷味を組み合わせた新しい料理を提供しています。一番人気は唐辛子の香り豊かなピリ辛の火鍋のスープですが、辛さを抑えたい方には、豚骨やごま油をベースにした火鍋スープがおすすめです。

📍 内湖区江南街 124 号（内湖江南店）

🕒 11:30～21:00（ラストオーダー：20:30）



06



08



07

06 - 08. 潮味決では滷味と火鍋の味を組み合わせ、さらに様々な食材を提供することでお客さんを満足させています。



09



10

④ サンロウ 貳樓

台湾式大衆居酒屋「熱炒（ルーチャオ）」をアレンジしたこのお店は3階建ての古い建物の中にあり、外観からは想像できませんが、台北でも人気の高いお店です。赤レンガの壁や格子窓など、元の内装がそのまま残っているのでレトロな雰囲気を楽しめます。看板メニューは鴨の胸肉の煮込み、ヘチマの塩卵黄和え、ピリ辛の牛スネ煮込みなどの伝統的な台湾料理で、他にも豆乳にウォッカを混ぜた台湾風のカクテルなどを提供しています。また、ウィスキーにキンモクセイとレモンジュース、卵白を加えた伝統メニュー「オスマンサス・アレー」もあるので一度試してみてください。

📍 大安区通化街 156 号

🕒 18:00～02:00（火曜 - 木曜、日曜）
18:00～03:00（金曜、土曜）

09. クラシックな台湾式居酒屋として有名な貳樓は、豆乳やキンモクセイなど台湾を代表する味を組み合わせたカクテルを提供しています。

10. 貳樓の店内設計は赤レンガやセメントの壁、木製の卓など台湾の伝統的の家屋の特色が取り入れられています。

⑤ ティエンチュンジンピン 天淳津品

屋台料理の王道といえば台湾式ハンバーガーの刈包（グアバオ）ですが、このお店では西洋のサンドイッチの概念を組み合わせた刈包を提供しています。通常は煮込んだ豚肉にピーナッツ、パクチーを蒸したまんじゅう生地でサンドしますが、このお店ではパクチー代わりの新鮮なレタス、ジューシーな豚バラ肉、ハニーマスタードを小麦粉と炭パウダーで作った生地で包んでいます。また、インスタ映えする蒸籠に入った盛り付けもポイントです。他にも鶏肉、牛肉、卵を使った別メニューもあるので、ぜひ新しい刈包を体験してみてください。

📍 大安区光復南路 290 巷 38 号
🕒 11:00 ~ 19:00 (月曜定休)



11

11. 天淳津品は食事スペースが 10 席もありませんが、美しさと快適さのバランスをとった絶妙な設計となっています。
12. 看板メニューの滷牛肉刈包が蒸籠に入った状態で提供される点も天淳津品大きな特徴の一つです。



12

台北は様々な文化が混ざりあった多様性と創造性に富んだ街です。時代の変化に伴い生活様式だけでなく台湾料理という分野においても変容が生まれつつあります。今回紹介したお店のようにもともとは屋台料理だった食べ物が昔からの精神を引き継ぎつつ現代風に進化を続けています。また、こうした進化は料理という分野に限らず、空間を楽しんだり、体験を共有したりという新しいカテゴリを形成しつつあります。ぜひ台北にお越しになった際は、発展途上にある屋台料理のバージョン 2.0 を体験し、進化を続ける台北を感じてみてください。📍



伝統市場： ありふれた日々の観測者

文 / Dyann Jiang 編集 / 下山敬之

写真 / 楊艷萍, Taiwan Scene, 劉佳雯, 高讚賢

台湾の伝統の市場といえば様々なお店が所狭しと並び立ち、あちこちで飛び交う店主たちの声が街に活気を与えています。迷路のように続く路地りの中で地元客は手早く買い物を済ませ、観光客は珍しい商品に惹かれ右へ左へとお店を行き来します。

中でも屋台で売られている香ばしい料理の数々は人を引きつける力があり、観光客だけでなく現地の人の心さえも魅了してしまいます。例えば、豆腐で作ったプリンの「豆花（ドウホァ）」は親が子供に買ってあげるポピュラーなデザートの一つですが、旧正月時期に帰省した人たちは童心に帰って食べている光景も珍しくありません。また、

市場はアットホームな雰囲気があり、道に迷った人に対しても親切に接してくれるので観光客も安心して訪れることができます。

台北は世界的にも発展の著しい都市ですが、その一方で伝統遺産を残し続けるなど近代化とのバランスを絶妙に維持し続けています。ここでは、世界中の人たちを魅了する台北の伝統市場を紹介していきます。

01. 伝統市場は新鮮な野菜がたくさん揃っているのに、台北に住む人の生活を支える重要な場所となっています。

ドンメンシューチャン

東門市場

📍 中正区信義路二段 81 号

東門市場は MRT 東門駅から徒歩 2 分という立地なので、台北の市場巡りの出発点として最適です。

この市場は、約 100 年前の日本統治時代に開設されましたが、当初はいくつかの店の集合体でしかなく、1949 年の国共内戦後に中国本土から移民してきた人たちが金山南路の周辺に住み着いたことで地域の中心的な場所となりました。今では有名人がよく訪れるお店も多

く、「貴族市場」としても知られています。

上質な商品、歴史を感じる雰囲気、そして地域との強い結びつきをもつこの市場は、地元の人々だけでなく、未知の体験を求める観光客も惹きつけています。ここを訪れた際には、つまれや春巻き、今川焼きに似た紅豆餅、さらには中国の伝統料理など市場で売られている最高のグルメを味わってみてください。



東門市場のおすすめグルメ：



ユーホンフーユーワン
御絨福魚丸

豚肉入りのつまれスープがメインのお店です。滷肉飯（ルーローファン）と一緒にご注文ください。（写真 / Taiwan Scene）

📍 中正区臨沂街 75 巷 1 号



ジャンジードンメンドウホァ
江記東門豆花

豆花を売る小さな屋台ですが、人生で一度は食べるべきと言われるほど有名です。（写真 / Taiwan Scene）

📍 中正区金山南路一段 142 巷 5 号



リーロンビンディエン
利隆餅店

10 年以上に渡り地元の人々に朝食のお店として愛されてきたお店で、牛肉餡餅や葱油餅が絶品です。

📍 中正区信義路二段 79 巷 15 號



(写真 / 劉佳雯)

ディアーグオツァイシューチャン

第二果菜市场

📍 中山区民族東路 336 号

台北松山空港から徒歩 20 分の場所にあるこの市場は、濱江果菜市场とも呼ばれています。名前からは果物や野菜の市場というイメージを持たれがちですが、料理人たちが高級食材を仕入れるために訪れる大規模な卸売市場としても有名です。

食材の仕入れ目的でなければ早朝の屋台に行くのがおすすめです、店主たちも気さくに接してくれますし、おすすめ料理や食材についても教えてください。

また、この市場では色彩豊かな果物や野菜以外にも鮮度の高い肉類や魚介類も有名です。特に海産物は品数が豊富で、中には名前がわからないようなマイナーな魚も売られています。鮮度の管理には十分注意が払われているので、ぜひ屋台などで新鮮な味を試してみてください。



第二果菜市场付近おすすめグルメ：



アンアンハイシエン
安安海鮮

お刺身が好きな方におすすめのお店で、一口食べると新鮮な海の風味が口いっぱいに広がります。

📍 中山区民族東路 410 巷 29 号



グァンティエンジューミェン
光田製麺

ほうれん草や紅麴米を練り込んだ特殊な麺が多々あるので、ぜひ一度試してみてください。

📍 中山区龍江路 370 巷 29 号



ビンジャンボーグォアローウ
濱江剥骨鵝肉

燻した香りと歯ごたえのある皮、柔らかい肉質が特徴のガチョウ肉を売っているお店。

📍 中山区民族東路 410 巷 47 号

ナンメンシューチャン

南門市場

📍 中正区杭州南路二段 55 号

台北の人の多くは南門市場こそ伝統的な市場と考える人も少なくありません。この市場は歴史が古く、日本統治時代や戦後に食べられていた昔ながらの味が残っているためです。

訪れるお客さんは特定のお店で決まったメニューを頼む人もいますし、台北で唯一本格的な点心料理が食べられる場所と言う人もいます。また、海外の観光客からも人気が高く、特定のお店の味を求めてわざわざやってくる人もいます。魅力のあるスポットです。

その他にもドライフルーツやジャッキー、中国式ソーセージ、粽子（ちまき）などの食品も有名で、春節や端午節、中秋節などの行事が近づくとそれらの食品を求める人たちが賑わいます。他では手に入らないような珍しい商品もあるので、観光がてら立ち寄るのも面白い場所です。



南門市場のおすすめグルメ：



ホーフアンダオシャオミェン
合歡刀削麵

柔らかい牛肉とコシのある麺のバランスが絶妙で、多くの人を虜にしているお店です。

📍 市場内 2 階の D13、14 ブース



イーチーツーファンバ
億起吃飯吧

品数は 4 品と少ないですが、和牛で作られた胡椒餅と常連客が好む蔥油餅が人気のお店です。

📍 市場内 2 階の D15 ブース



クワイチャーロウガン
快車肉乾

ジャッキーの専門店で、特にパリパリとした食感の「肉紙（ロウジュ）」が有名です。

📍 市場内 1 階の B34～38 ブース



(写真 / 劉佳雯)

シンフーディンウェンホアシューチャン

新富町文化市場

📍 万華区三水街 70 号

「古きよき台北」という印象の強い万華区の龍山寺から5分のところにあるこの市場は台北と同じくらい興味深い歴史があります。

開設されたのは1918年で、当時は「緑町（みどりまち）市場」という名称で台湾人と日本人の交流の場となっていました。その後、第二次世界大戦が始まったことで全てのお店が閉鎖されますが、戦後に中国人の移民コミュニティや台湾南部から上京

してきた若者たちの手によって再び活気を取り戻しました。

1990年代には大きな変革を迎え、昔ながらの雰囲気を残しつつ新しいアートなどの文化を取り入れた場所として発展し始めます。市場の近くにある三水街という通りでは屋台が立ち並ぶ風景の中に現代の独創的なアートを見ることができると、新旧がうまく調和したスポットへと変化しています。



新富町文化市場付近おすすめグルメ：



ミンリーカーフェイ
明日咖啡



ホーシンパーシューバーティン
合興八十八亭



スージャーロウユェンヨウグォ
蘇家肉圓油粿

落ち着いた雰囲気と日光が差し込むカフェ。都会の喧騒を忘れてのんびり過ごしたい方におすすめです。

📍 万華区三水街 70 号

日本風の木造建築のお店で、昔ながらのもち米スポンジケーキが多くの人に愛されています。

📍 万華区三水街 70 号

70年続く肉圓の店。弾力のある皮とジューシーな肉団子を新鮮なタケノコで包んだ一品です。

📍 万華区三水街 109 号

シュードンシューチャン
士東市場

📍 士林区士東路 100 号

元々は住宅街だった天母は、1950年に駐留していた米軍の影響を受け、台北で最も異国情緒のある地域へと発展しました。士東市場は最高級デパートやアートセンター、広大な公園が点在する天母の中にあり、他の市場とは違う魅力を放っています。

1992年に開設された比較的新しいこの市場は、エコに力を入れて改修が行われ、現在では最も地球環境に優しい市場となりました。どのあたりがエコなのかというと、太陽光発電システムや雨水貯水設備などが備えられていたり、各お店でリサイクルがしっかりと行われている点です。伝統市場の多くは裏通りに立ち並んでいます。士東市場はデパートのような施設内にあり、空調と照明が完備されています。さまざまな工夫を行うことで、伝統的な市場も現代のスタイルに最適化できることを示した稀有な例です。



(写真 / 高讃賢)



士東市場のおすすめグルメ：



アージーシュー
阿吉師

海鮮系の日本料理を提供するお店ですが、予算を伝えればそれに合わせた料理を作ってもらえます。

📍 市場内 1 階の 88 番



ジュエンツンバオバオジャーチャンツァイファン
眷村寶飽家常菜飯

家庭の味にこだわっていて、フライドチキンと焼き魚が人気です。

📍 市場内 2 階の 234 番



コンミンタン
孔明堂

孔明堂は甘さを控えた中華菓子のお店で、大根もちや卵黄のケーキ、いちご大福やシュークリームなどが人気です。

📍 市場内 1 階の 23 番

桃園国際空港から台北市までのアクセス台北市と桃園国際空港の交通手段には、スピーディーな桃園国際空港 MRT、安くて便利な空港バス、安全で快適なタクシー、専門的で質の高い送迎サービスがあります。いずれも所要時間と料金が異なりますので、必要に応じてお選びください。

旅のお役立ち情報

i 空港交通手段

タクシー

乗り場：

第一ターミナルの到着ロビーの西側、
第二ターミナルの到着ロビーの西側

片道料金：

メーターの料金＋高速道路料金。
台北市内まで約 NT\$1,100 元

第一ターミナルタクシー

サービスセンター：

電話：(03)398-2832

第二ターミナルタクシー

サービスセンター：

電話：(03)398-3599

空港バス

乗り場：

第一ターミナル乗車場所：
B1 階入国バス乗り場
第二ターミナル乗車場所：
1 階入国ロビー東側屋外通路乗り場

運行会社：

国光客運、長栄巴士、大有巴士の3社

片道料金：

NT\$65 元～NT\$145 元

所要時間：

路線によって約 40 分～60 分
(大有巴士は停車バス停が多いため約 60 分～90 分)

運行間隔：

約 15 分～30 分間隔

桃園国際空港 MRT

乗車駅：

A12 機場第一航廈駅
A13 機場第二航廈駅

片道料金：

NT\$150 元

営業時間：

(実際の運行時間は現場でご確認ください)
台北行→第一、第二ターミナル
始発列車 06:00 / 終発列車 23:37

第一ターミナル→台北行

始発列車 05:59 / 終発列車 23:37

第二ターミナル→台北行

始発列車 05:57 / 終発列車 23:35

台北 MRT

営業時間：06:00～24:00

24 時間お客様専用ダイヤル：(02)218-12345

切符：



IC トークン (片道切符)
NT\$20-65



MRT 1 デイパス
NT\$150



24 時間バス
NT\$180



48 時間バス
NT\$280



72 時間バス
NT\$380

電子マネー：

電子マネーとして、チャージするだけで MRT (都市交通システム) など公共交通機関やコンビニエンスストア、特約商店での小額決済ができます。シェアサイクルの YouBike にも使えます。購入は MRT やコンビニなど取扱店で。



EasyCard



iPass

台北基おもしろカード：

12 の素敵な観光地＋交通機関乗り放題の「無限周遊カード」、交通機関乗り放題の「観光スポット周遊カード」、「交通周遊カード」の3種類。有効期限内に台北市と新北市、基隆市を思う存分遊ぶことができます。



無限周遊カード
有効期間は
1 日 / 2 日 / 3 日券
NT\$1,200/1,600/1,900 元



観光スポット周遊カード
2 日 / 3 日 / 4 日券
NT\$650/850/1,050 元



交通周遊カード
有効期間は
1 日 / 2 日 / 3 日 / 5 日 /
猫空ロープウェー 1 日券
NT\$180/310/440/700/350 元

旅のインフォメーション

交通部観光局 24 時間対応、無料の旅行情報ホットライン：0800-011-765

24 時間対応、無料の外国人在台生活相談：0800-024-111

台北市民ホットライン：1999 (台北市外 02-2720-8889)



台北市ダブルデック観光バス
TEL: (02)8791-6557 EXT. 30



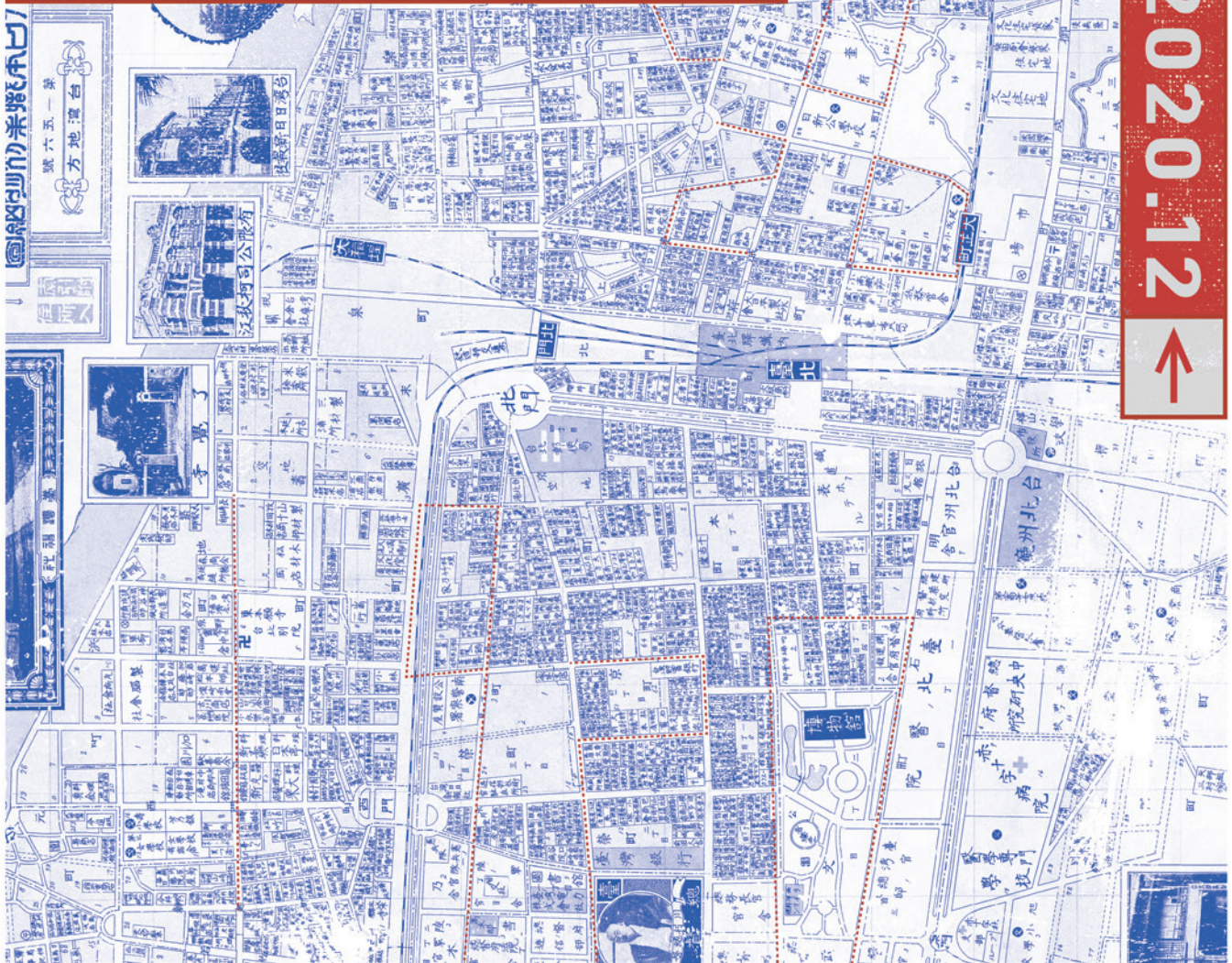
台北市設置100年

1920年を振り返る

専門家による解説イベント

台北100年の歩みを振り返る

2020.9 - 2020.12



2020/9/12 (Sat.)

日本統治時代の建造物訪問
台北書画院、琴道館、齊東詩舍

2020/9/13 (Sun.)

返校 - Detention
2020年スペシャルエディション

2020/9/19 (Sat.)

日本統治時代の施設訪問
三井倉庫、鉄道部、西本願寺輪番所

2020/10/24 (Sat.)

日本式庭園を訪問
北投公園、北投図書館、北投梅庭、北投文物館

2020/10/31 (Sat.)

日本統治時代の公的施設を訪問
總統府、台北賓館、台北放送局、行政院

イベントの詳細につきましては文化銀行 (Bank of Culture) のFacebookページをご確認ください



臺北市政府 文化局
1920
Department of Cultural Affairs

